カード・ショッピング枠・自力現金化マニュアル



アメリカン・オプション研究会

はじめに

お金の苦労は、経験したものでないと、わからないでしょう。

「明日の支払いにあと20万さえあれば何とか切り抜けられるのだが」なんて悔しい思い をされたことのあるかたは、多いのではないでしょうか。

しかし、そうはいっても、近頃の消費者金融は倒産続出ですし、また、高齢者や無職 の方などへの審査は、日を追うごとに、厳しくなっているようです。

貸金業法改正のパンチでピンチ

とくに、2010年6月18日から施行された貸金業法改正は、「個人の借り入れ総額が年収 の三分の一までに制限されてしまう」という「総量規制」のはじまりでした。

これによって、これまで、年収の三分の一以上の借り入れをしていた人が、新規の借 り入れをすることがまったくできなくなったばかりか、これまでの借り入れ総額が年 収の三分の一を超えている場合には、「借り入れ可能金額ゼロ円」と限度額が設定され 直されるがために、これまでの「金を返すために金を借りる」というジャンプが使え なくなってしまったのです。

ー兆円も減ってしまった消費者向け貸し付け残高

最近発表されたクレジットカード・信販会社の消費者向け貸し付けの残高は、ここ1 年間で約1兆円減ったとしています。

これは、2010年6月の改正貸金業法の完全施行で、年収の3分の1超の借り入れを禁 じた「総量規制」が始まり、カード各社がキャッシングの審査を厳格化したことや、 中小の消費者金融業者の廃業が急増していることが主因とされています。

また、大手消費者金融の融資審査も非常に厳しくなっているようで、10人中3人位し か審査がおりない状況といわれています。

また、消費者金融からお金を借りていた人も、上限額の変更により、返済するだけの 状態に陥っている人も少なくないといわれます。

融資限度額見直しが主婦を直撃する

年収の三分の一以下の借入制限や金利規制を制定し資金需要者の個人信用情報の登録 を義務付ける今回のこの貸金業法改正は、貸金業者とその利用者・専業主婦(夫)の 双方に、これからも、大きな影響を及ぼしていくものと予想されます。

『新貸金業法と配偶者貸付に関する主婦(夫)の意識調査』と題する全国アンケート調 査は、現在借入残高のある専業主婦(夫)500人と過去に消費者金融やキャッシングを 経験したが現在は借入残高がない利用者500人を対象に行ったものです。

これによりますと、今回の貸金業法改正のポイントともいえる「配偶者の同意なくして借りられなくなる」ことに対しては「知らない」が1000人の回答者の55%強を占め、また、平均総額約459千円の借入目的の66%は「家計の不足を補う」との回答でしたが、その約34%は夫に内緒での借入れでした。

ある方の例を見ますと、突然「融資限度額の見直しで上限額が制限されてしまった」 という例もあります。

とくに、家庭の主婦の方の場合には、悲惨な状況といえます。

これまでは、ご自分独自の収入があまりない主婦の場合でも、ご主人に無断で独自に 借り入れをおこすことができたのに、これからは、ご主人の収入を含めた世帯の収入 の三分の一に制限されるばかりでなく、ご主人からの同意書が必要になる、という厳 しさです。

なにか方法はないのか?

こまりましたね。

でも、いい方法があるのです。

あなたは、クレジットカードをお持ちのはずです。

もっとも、そのキャッシング枠は、 とうに限度額に達しているばかりか、今回の貸金 業法改正によって、すでにカード会社から限度額変更の手続きがされてしまっている かもしれません。

でも、そのうちのショッピング枠についてはどうでしょう?

ー般に、ショッピング枠は、キャッシング枠に比して、余裕を持って設定されている はずです。

なかには、キャッシング枠はゼロだが、ショッピング枠は、40万円設定などという例 もあるはずです。

過去にカードの事故をおこした方でも、キャッシング枠なしのカードでなら、ショッ ピング枠だけの条件で、カードを発行してもらえるカード会社もあるようです。

3

この、あなたのお手持ちのクレジットカードのショッピング枠を利用し、現金化する 方法があるのです。

他人任せや業者まかせの方法は危険

といっても、近頃テレビや新聞で話題になっているような、形だけの特定商品をクレ ジットカードで購入し、それを買い戻した形にして、キャッシュバック・サービスの 形で現金化するというような、目減りのひどい方法(20パーセントの手数料なんて話も 聞こえてきますね。)などではありません。

または、裏でヤミ金とつながっているような危ない方法でもありません。 これらについては、「入金されない」「キャンセルできない」などの相談が相次いでい るといわれます。

それに、このごろでは、クレジットカードのショッピング枠を現金化し手数料を差し 引いて多重債務者らに渡す、これら「カード現金化業者」について、当局は「貸金業」 とみなし、規制を強化する方針となってきました。

消費者庁も、これらの業者が主張している景品表示法遵守や古物商許可の範囲での業務との合法性の主張(景品表示法において購入者にもれなく景品をつけることは違法と されているが、その例外規定として"キャッシュバック"が入っているので、キャッ シュバックによる現金化は合法という主張)についても、疑問を呈しているようです。

このような業者を頼りとすることなく、誰にも知られずに、誰にも頼ることなく、また、他人にあなたのカードを預けるような危険なこともせずに、あなた一人、自力で、 内内にクレジットカードのショッピング枠を、コンピュータ・アクセスのみによって 現金化できてしまう方法があるのです。

ご自分でできるのですから、媒介業者に手数料をとられることもなく、また、無駄な 形だけの商品を購入させられるによる、受け取り現金の大幅な目減りが生じることも ありません。

しかも、一括返済ではなく、毎月分割のリボ払いでそれができてしまうので、利用代 金の返済は、通常のカード利用と同じく、ご利用のクレジットカード会社への毎月の 返済金のみとなります。

おまけに、通常のカードのポイントまでついてきてしまいます。

それに、インターネットでのやり取りで済みますから、金券ショップの店頭で現金化 のときに味わう、肩身の狭い思いをすることもありません。

その方法とは?

その方法とは、クレジットカードから PayPal という海外口座を経由させることです。

海外口座などというと、「私は英語ができないから」などと敬遠される方がほとんどだと 思います。

でもご安心ください。

ここで、ご紹介するのは、日本語サイトが備わったものなのです。

ですから、私どもの方で、逐一手順をお教えしますので、そのとおりに日本語サイト で手続きを済ませればいいだけのことです。

もう、ここまできますと、賢明な読者の方は、お分かりのことだと存じます。

つまり、あなたのクレジットカードのショッピング枠から、いったん、あなたの PayPal 口座を経由してお金を海外旅行させて、再び、日本のあなたの銀行の預金口座 に戻させる、というやり方が、この方法の最大のポイントなのです。

一部には、この方法ではPayPalの利用規定に抵触するのでは?とか、クレジットカード 会社からの支払い拒絶にあうのでは?との懸念を示される方もいらっしゃいます。

もちろん、利用にあたっては、そのような疑念をもたれないような運用の仕方が、自 己責任において求められますが、本マニュアルの仕組みでは、それらに抵触しない仕 組みを提示しております。

(ただし、その判断は、クレジットカード会社やPayPalによって、そのときのケースバ イケースで行われる場合が多いので、実行に当たっては自己責任でお願いします。)

では、これからその方法を、手順を踏んで、解説していくことにしましょう。

なお、この手順は、ごく簡単な手順ですので、このマニュアルも、多くのページ数を 要していません。

したがって、マニュアルの価格設定も、非常にリーズナブルな価格帯に設定しており ます。

では目的達成に向かって、出発です。

E

はじめに-2

目次-6

著作権について-8

第一章 自力でできるカード・ショッピング枠現金化のおおまかな仕組み-9

01. いくつかの壁がある-9
 02. 壁を抜く仕組みとは 10
 03. 六つの段階 11
 04. ここがチェック・ポイント 13

第二章 PayPal 口座、デビットカード、楽天ビジネス口座 -Q&A--14

01. PayPal 口座について-14
02. デビット・カードについて-21
03. ビジネス名義預金口座について-22
04. ここがチェックポイント 23

第三章 「送り手のPayPal 口座・パーソナル・アカウント」を作る-第一段階-24

01.「送り手の PayPa1 口座・パーソナル・アカウント」を作る手順-25
02. カードの認証について-29
03. 払い出し用預金口座の登録について-31
04. ここがチェック・ポイント-31

第四章 「受け手の PayPal 口座・ビジネス・アカウント」を作る - 第二段階 -32

01.「受け手の PayPal 口座・ビジネス・アカウント」を作る手順-34
02. PayPal 口座「パーソナル・アカウント」から「ビジネス・アカウント」へのアップ・グレード手順-42
03. クレジットカードと払い出し用ビジネス名義預金口座の登録手順-44
04. ここがチェック・ポイント-48

第五章 デビット・カードとビジネス名義預金口座の作成手順-49

01. デビット・カードの作成手順-49

- 02. ビジネス名義預金口座の作成手順-54
- 03. ここがチェック・ポイント-64

第六章 PayPal 口座間での「支払いの請求・送金・払い出し・現金化」の手順-第三 段階から第六段階まで--65

01. 受け手の PayPal 口座・ビジネス・アカウントから支払いの請求をする - 第三段階 - -65

02. 送り手の PayPal 口座・パーソナル・アカウントからクレジット・カードで支払いの送金をする - 第四段階 --66

03. 受け手の PayPal 口座・ビジネス・アカウントからビジネス名義預金口座に振り込み・現金化をする-第五段階と第六段階--68

04. ここがチェック・ポイント-70

終章 この仕組みをさらに発展させると、どんなことが出来る?-71

著作権について

「カード・ショッピング枠・自力現金化マニュアル」(以下、本マニュアルとする)は、著 作権で保護されている著作物にあたります。本マニュアルの取り扱いについては、以下 の点にご注意ください。

・本マニュアルの著作権は、アメリカン・オプション研究会にあります。

・著者の書面による事前許可なく、本マニュアルの一部、または全部を、印刷物、電子ファイル等のあらゆるデータ蓄積手段により複製、流用、転載、翻訳、転売等をすることを禁止します。

使用許諾契約書

本契約は、本マニュアルを購入した個人・法人(以下、甲と称す)と著者(以下、乙と称 す)との間で合意した契約です。本マニュアルを甲が受け取った時点で甲はこの契約に 同意したことになります。

第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本マニュアルに含まれる情報を甲が非独占的に使用する権利を許諾 するものです。

第2条 禁止事項

本マニュアルに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本マニュア ルから得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動及び電子メディア による配信等により一般公開することを禁じます。また、本マニュアルを第三者に渡す ことは固く禁止します。甲は、自らの使用においてのみ本マニュアルに含まれる情報を 使用できるものとします。

第3条 措置

甲が本契約に違反したと、乙が判断した場合、乙は何の通告もなく、速やかに法的手続 きへと移らさせていただきます。

第4条 免責

本マニュアルは情報の提供を目的としており、行動を勧誘する目的で、作成したもので はありません。その行動の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願いいた します。本資料の情報は、乙が信頼できると判断した情報源から入手したものですが、そ の情報源の確実性を保証したものではありません。

本資料の記載内容に関するご質問・ご照会等には一切お答え致しかねますので予めご了 承お願い致します。

第5条 その他

事前の予告なしに、本マニュアルの内容を改良、変更することがあります。

以上

第一章 自力でできるカード・ショッピング枠現金化のおおまかな仕組み

はじめに、この PayPal 口座を利用したカード・ショッピング枠現金化の仕組みについて、ざっとご理解を得たいと思います。

PayPal 口座というのは、クレジット・カードから決済されたお金を、ひとつの PayPal 口座からもうひとつの PayPal 口座へと移すことが出来、そのもうひとつの PayPal 口座 から一般の預金口座へ現金を払いだすことが出来るという、便利な海外口座です。

ここで、PayPal 口座を、皆様おなじみのスイカ・カードになぞらえてみると、わかり やすいでしょう。

スイカ・カードでは、チャージして、お金の価値をカードに蓄え、ここから買い物な どに吐き出させます。

これと同じように、PayPal 口座も、クレジットカードを使って、PayPal 口座にお金の 価値をチャージして、ここから、相手のPayPal 口座へ、お金の価値を吐き出させるこ とにより、送金を実現させます。

PayPal 口座には、パーソナル・アカウントとプレミア・アカウントとビジネス・アカ ウントとの三種類があります。

一個人はこのうちの二つを持つことは出来ますが、三つ全部を持つことは出来ません。

また、クレジット・カードで決済されたお金を受け取ることが出来るのは、このうち のプレミア・アカウントとビジネス・アカウントだけです。

このマニュアルにおける「PayPal 口座を利用したカード・ショッピング枠現金化」の 仕組みは、この PayPal 口座の特性を利用して、ひとつのアカウントからクレジット カードでお金を引き出し、もうひとつのアカウントに資金を移動させることによって、 クレジット・カードの現金化が図られる、というものです。

1. いくつかの壁がある

ただ、ここに、いくつかの壁があります。

第一の壁は、日本では、ひとつのパーソナル・アカウントから他のパーソナルアカウ ントへの資金の移動が禁じられています。

ただ、それが、パーソナル・アカウントとビジネス・アカウントとの間の資金の移動であれば、許されているのです。

第二の壁は、日本のPayPal 口座とPayPal 口座とのあいだで、ドルでのクレジット決済 をしても、リボ払いが効かず、翌月の一括支払いとなってしまうことです。

9

ただ、日本のPayPal 口座とPayPal 口座とのあいだの決済であっても、その支払いが商品の決済の支払いである場合は、リボ払いが利くのです。

第三の壁は、多くのカード会社の場合、商品の代金決済でないと、資金ロンダリング ではないかと、疑われ、資金決済がストップされる場合があるということです。

これについても、これが商品決済であり、しかも、相手から支払い請求をされた場合には、これが許される可能性が高い、ということです。

第四の壁は、PayPal 口座で、パーソナル・アカウントからプレミア・アカウントへの 送金の場合、クレジット・カード会社の利用明細書における「利用店名・商品名」の 表示が「PAYPAL *(あなたの名前)」となってしまうことです。

これについては、「パーソナル・アカウントからプレミア・アカウントへの送金」でな く、「パーソナル・アカウントからビジネス・アカウントへの送金」とすることによっ て、利用明細書における「利用店名・商品名」の表示は「PAYPAL*(あなたの登録ビジ ネス名)」となることが出来ます。

第五の壁は、PayPal「利用規定ポリシー」の中に、次のような文言があることです。 「禁止行為 3. 以下のような取引に関与する行為。(c)クレジット・カードを資金源とす る負債の再融資に関係するもの。(i)特定のクレジットの回復または債務の返済サービ スを提供するもの」

英文での規定では「No Cash Advances」(キャッシング・サービス禁止)の条項があり、 また、「Quasi-cash」(擬似的現金)送金のためにクレジットカード を使った場合は、 これを「Cash Advances」(キャッシング・サービス)」とみなすとあります、

しかし、これらについては、あくまでビジネス主体として、商品の代金の個人への請求に対して、個人がクレジットカードによって支払いをしたものであれば、なんら抵触はしないといえます。また、「Quasi-cash」(擬似的現金)送金のためのクレジット・カード使用ではなく、商品(Goods)やサービス(Services)の支払いのためのクレジットカード支払いであれば、なんら抵触はしないといえます。

2. 壁を抜く仕組みとは

そこで、これらの壁をうまくカバーするために、このマニュアルにおける PayPal 口座 を利用したカード・ショッピング枠現金化の仕組みにおいては、

①パーソナルアカウントとビジネスアカウントの間での、ビジネス側からの請求に応じた、個人サイドからの資金のクレジットカード支払いとする

②やりとりする資金はドルベースでの商品(Goods)の決済をベースとする

③ビジネスにおける事業主体と個人との間でのドルでやりとりとすることにより、ク レジットカード利用明細書における「利用店名・商品名」の表示に「ビジネス名・商 品名」が明記されるように、パーソナル・アカウントとビジネス・アカウントとの間 でのやりとりとし、また、パーソナル・アカウントは英語での登録、ビジネス・アカ ウントでは一部英語一部日本語での登録とする

との基本線を守って、仕組みを組み立てたものです。

3. 六つの段階

以上のことをまず頭にいれていただいて、以下にこの仕組みの大まかな概要を述べて いきます。

合計、次の六つの段階からなります。

(1). クレジットカードのショッピング枠で送金する「送り手の PayPal 口座」を作る

送り手のPayPal 口座・パーソナル・アカウントを作ります 具体的な手順は次のとおりです。

①あなた名義のメール・アドレスを用意する

このメール・アドレスは、フリー・メール(gmail など)でも結構ですが、確実に連絡が つくものをご用意願います。

②あなた名義の有効なクレジット・カードを用意する

この場合、用意するクレジット・カードは、PayPal で決済可能なカード(Visa、 Master、JCB)のマークがついているカードで、リボ払い選択が可能なものです。 AMEX は日本からでは使用できません。

③あなた名義の預金口座を用意する

これは登録するだけのものですので、普段お使いの銀行のあなた名義の普通預金口座 で結構です。また、登録は、すぐでなくても結構です。

④あなた名義の PayPal 口座を作る

PayPal 口座には三つの種類(パーソナル、プレミア、ビジネス)がありますが、ここで 作るのはそのうちのパーソナル・アカウントです。 この場合、英語名での登録となります。

(2). クレジットカードのショッピング枠で送金されたお金の「受け手の PayPal 口座・ ビジネス・アカウント」を作る

受け手のPayPal 口座・ビジネス・アカウントを作ります。 具体的な手順は次のとおりです。

①あなた名義のメール・アドレスを用意する

このメール・アドレスは、(1)の「送り手のPayPal 口座」で登録したメールアドレスと は異なるものを用意してください。

また、フリー・メール(gmail など)でも結構ですが、確実に連絡がつくものをご用意願います。

②1の「送り手の PayPal 口座」で登録したクレジットカードとは異なる、あなた名義のクレジットカード、または、それがない場合は、スルガ銀行などのデビットカード を作る

このあなた名義のクレジットカードまたはデビットカードは、ただ単に PayPal 口座に 登録するためのもので、このカードを決済に使うことはありません。

③あなたの裁量で残高管理が可能な、あなた本人名義のビジネス名義の預金口座また は「楽天銀行個人ビジネスロ座」を作る

ビジネスロ座にはあなたの名義とは異なるビジネス名義の預金ロ座の登録が必要です。 もしあなたが、個人名義でない、法人名義やNPO名義の口座(あなたの名前が代表者名 として記載のもの)をすでに都市銀行・地方銀行・信用金庫などにお持ちの場合は、そ の口座で結構です。

それらがない場合は、楽天銀行個人ビジネスロ座を作ります。

④あなた本人名義の PayPal 口座のビジネス・アカウントを作る

ここで作る PayPal 口座は1 でのパーソナル・アカウントではなく、ビジネス・アカウ ントです。

そして、ここでは、「ビジネス情報」については、英語の登録、「ビジネス・オーナー に関する情報」については日本語の登録とします。

(3). 上記の2の「受け手のPayPal 口座」から、上記の(1)の「送り手のPayPal 口座」 に対して、「商品」の代金として、ドル・ベースでの支払いの請求をする

受け入れ先ビジネスロ座(あなたのビジネスロ座)からあなたのパーソナルロ座に対し てドル・ベースでの支払い請求をします。

この場合、なぜドル・ベースなのか?また、どうして「Good(商品)の代金」として請求 するのか?ですが、送金先がドルベースでクレジット決済することによって、両者が海 外取引者同士とみなされうること、そして、「Goodの代金」のドル決済であると、リボ 払いの対象となりうるからです。

(4). 上記の1の「送り手のPayPal 口座」で、3の請求に対して、あなたのクレジット・ カード決済で、ドル・ベースでの支払いを、毎月分割のリボ払いで支払い決済を行う 受け入れ先のビジネスロ座からあなたのパーソナルロ座に対し「Good の支払い」とし ての送金請求が来ますので、これに基づき、あなたのクレジットカードを使って、ド ルベースでの決済をします。

この場合は、円からドルへ送金金額は換算されますが、その換算レートはその日のド ル円相場によって異なります。 手数料は「決済金額の2.9-3.6%+40円」です。

円高時のほうが円安のときよりも、換算レートは得になります。

この場合、クレジットカードの設定が、当初からリボ払いの設定になっている場合は そのままで結構ですが、そうなっていない場合は、後ほど、カードの側で、リボ払い の選択をする必要があります。

(5). 上記の1の「送り手のPayPal 口座」から上記の2の「受け手のPayPal 口座」へ、 あなたのクレジット・カードのショッピング枠を使っての支払いが行われ、上記の2の 「受け手のPayPal 口座」にドル・ベースでの残高が発生する。

4の手続きを行うと即座に支払いが行われ、受け入れのビジネスロ座にドルベースで残 高が発生します。

(6). 上記の2の「受け手のPayPal 口座」から、登録してある「楽天銀行個人ビジネス 口座」などビジネス名義の登録口座へ、資金を移転する

ビジネスロ座にドル・ベースで着金していることを確認し、ここから登録してあるビジネス名義の預金口座に払い出しをします。

この場合は、ドルから円へ払い出し金額は換算されますが、その換算レートはその日のドル円相場によって異なります。

円安時のほうが円高のときよりも、換算レートは得になります。

この場合、出金額が五万円以上の場合は無料ですが、五万円未満の場合は手数料250円 がかかります。

通常、2-3日で登録の預金口座に入金されます。

以上が大まかに見た、全体の流れです。

4. ここがチェック・ポイント

①一個人では、PayPal 口座のパーソナル・アカウントは、ひとつ限りで、二つ以上持つと、住所寄せをされた場合、ひとつに絞り込まれます。

②ビジネス・アカウントから、あなたのビジネス名で請求のメールが来て、それに基づいて、個人としてのあなたが、あなたのクレジットカードから支払うものです.

③ドル決済の場合、「商品の代金」としての支払いを行わないと、クレジットカードの 決済でのリボ払いが効かなくなることがあります。

④クレジット・カードに現れる明細で、英語と日本語、または、ビジネス名での送金 先が英語でのビジネス名となり、日本からの送金者が英語のビジネス名となることで、 表面上での一致がさけられます。

第二章 PayPal 口座、デビットカード、楽天銀行個人ビジネスロ座-Q&A-

以上、全体の仕組みについて大まかなご理解をいただいたと思います。

この仕組みの中で、重要な役目を果たしているのが、① PayPal 口座(パーソナル・アカ ウント、ビジネス・アカウント)、②デビットカード、③楽天銀行個人ビジネスロ座 この三つです。

これらによくある疑問点について、以下に Q&A の形などで記しておきます。

1. PayPal 口座について

PayPal

Q-PayPal 口座とはなんですか?

A-「PayPal =ペイパル」とよびます。

PayPal 口座といっても、これまで、ネット取引などをされた方は別にして、一般の方 にとっては、まだ、なじみの薄いものでしょう。

PayPal 口座とは、メールアドレスを利用して口座間のオンライン送金を可能にしたシ ステムです。

世界で二億アカウント登録されている、インターネット利用の決済サービスです。

PayPal 口座を開設すれば、銀行のように口座番号や名義人などを指定しなくても、また、送金相手にクレジットカード情報を知られることなく、メールアドレスだけでお金のやり取りができます。

PayPal は自分の PayPal 口座から自分の日本の銀行口座に「円」で引き出しできます。 PayPal の登録は無料です。口座維持費も無料です 2010 年から日本でも本格的な展開が図られつつあります。

Q-PayPal 口座とクレジットカードとの関係はどうなりますか?

A-PayPal 口座自体には自分で残高を積み上げることはできません。 他のPayPal 口座からの送金があった場合にのみPayPal 口座に残高がつみあがります。 では、よそのPayPal 口座への送金の元となる残高がない場合はどうでしょうか? その場合は、その送金分をクレジットカードからPayPal 口座を経由して送金すること になります。 ここでは、クレジットカードから引き出された支払い金額が右から左へとPayPal 口座 を経由して、送金相手先のPayPal 口座に振り込まれることになります。

身近な例として、スイカ・カードへ、クレジットカードを使ってチャージするような もの、と考えられるとわかりやすいかもしれませんね。

送金元であるあなたのPayPal 口座は、単なる通過点に過ぎず、残高があなたのPayPal 口座に残ることはありません。

「クレジットカード→あなたのPayPal 口座→相手先への送金→送金相手先のPayPal 口 座へ入金→PayPal 口座から登録してある払い出し銀行口座に振り込み」という流れにな ります。

Q-自分の PayPal 口座によそからの送金があり残高がつみあがっている場合は、それを 引き出せるのですか?

A- つみあがっている PayPal 口座の残高分は、ご自分の PayPal 口座に登録した、あなたの銀行などの預金口座に引き出すことができます。ただし、引き出し金額は、残高が10 ドル以上ある場合です。 2-3日かかります。

出金額が五万円以上の場合は無料ですが、五万円以下の場合は、手数料250円がかかります。

Q-PayPal 口座が海外の口座と聞いて、英語ができないので、心配ですが

A-PayPal はアメリカの会社ですので、英語での登録となっていますが、設定の言語切り替えをすれば、完全に日本語に切り替わります。

また、このマニュアルで、逐一、丁寧に手順をお教えしますので、そのとおりに順序 を踏んで、日本語サイトへの切り替えで手続きを済ませていただければいいのです。

Q-PayPal 口座への登録方法を解説したほかのサイトを教えてください

A-日本語でのPayPal 口座の開設については、インターネット上でいろいろな解説サイトがあります。

たとえば次のサイトなどが詳しくていいです。(ここに記載されている紹介サイトは時 にはサイト主宰者の都合などにより、突然閉鎖されていることもありますので、この 点、随時、ご確認ください。)

PAYPAL (ペイパル)日本語説明・使い方 http://e-okozukai.com/

初心者のための PayPal (ペイパル)の基礎知識 http://r.nanapi.jp/702/ PayPalの使い方特設サイト http://paypal.nanapi.jp/

画像で解説!PayPal 登録日本語ガイド http://finedays.org/natto/paypal.html

初めての PayPal (ペイパル) 口座開設・入金・出金ガイド http://ppjp.web.fc2.com/

PayPal 日本語解説ページ http://resalerights.jp/paypal/

PayPal 認証・手続き方法 http://www.nihon5guide.com/pdf/007.pdf

PayPal への登録方法 https://www.easypay.jp/guide/paypalregist

Q-PayPal 口座には、どんな種類があるのですか?

A-三種類のアカウントがあります。

 ①パーソナル・アカウント②プレミア・アカウント③ビジネス・アカウント です。 一個人は、これらのうち、「パーソナル・アカウントとプレミア・アカウント」または 「パーソナル・アカウントとビジネス・アカウント」など、三種類のうちの二つはもて ますが、三種類全部を持つことはできません。

Q-パーソナル・アカウント、プレミア・アカウント、ビジネス・アカウントのそれぞ れの違いや特徴を教えてください

A-パーソナル・アカウントは個人支払い、プレミア・アカウントは個人間での決済、 ビジネス・アカウントは法人や個人事業主などの決済に使われます。 相手からクレジットカードによる送金が受けられるのは、プレミアとビジネスです。

プレミアとビジネスとの違いは、支払い代金を受け取れる年間の回数で、前者は年五 回に制限されていますが、後者は無制限です。

なお、パーソナル・アカウントやプレミア・アカウントをいったん開設して、後にビジネスロ座へアップ・グレードすることができます。

Q-一人で二つ以上のパーソナル・アカウントを持つことはできるのですか?

A-以前は出来たようですが、今は出来ません。

たまたま、二つ登録できたとして、後になって、住所の名寄せなどで重複が判明した 場合は、古いほうのパーソナル・アカウントが新しいほうのパーソナル・アカウント へ統合されてしまうことがあるようです。

Q-この仕組みでは、どうして、「送り手の PayPAI 口座」と「受け手の PayPal 口座」と を別にするのですか?

また、どうして、パーソナル・アカウントとビジネス・アカウントとを使い分けるの ですか?

A-PayPal では、日本において限りですが、個人間送金サービスを、2010年4月1日の 「資金決済法」施行以後、停止しております。

ですから、日本では、パーソナル・アカウント同士では、送金決済ができないのです。

しかし、商用目的でのパーソナル・アカウントとビジネス・アカウントとの間の送金 決済や、国外から国内への個人間支払いは従来通り禁じておりません。 このことから、パーソナル・アカウントとビジネス・アカウントとを使い分けている のです。

Q-この仕組みでは、どうして送金請求をするのですか?そして、どうして送金請求をド ル建てにするのですか?

A-請求者が海外ビジネスの形で、英語のビジネス名でドル建てで個人に商品代金の請 求をし、これに対して、個人がクレジットカードの決済をもって応える、という形を とっているからです。

Q-この仕組みでかかる、送金手数料は、送金するほう、送金されるほうの、いずれが 支払うのですか?

A-通常は、お金を受け取るほう(送金の請求をしたほう)が支払います。 ビジネス取引の場合、手数料は、国内海外とも、「送金額の2.9%-3.6%+40円」とな ります。

Q-クレジット決済で送金した場合のクレジット会社への手数料はいくらかかりますか?

A-送金額の3.6%+40円かかります。これは、送金する側にかかってきます。

17

Q-この仕組みでは、同一人なのに、どうしてパーソナル・アカウントとビジネス・ア カウントとのメール・アドレスを共通にできないのですか?

A-PayPal では、メール・アドレスが、 ID アカウントになります。 ですから、同じメール・アドレスですと、重複アカウントとして排除されます。

Q-この仕組みでは、ビジネス・アカウントでの登録預金口座は、なぜ、個人名義では だめなのですか?

A-PayPal では、送り手のパーソナル・アカウントの名前と受け手のビジネス・アカウントで登録のビジネスのオーナーの名前とが一致すると、排除される場合が多いようなので、これに対処したものです。

ただし、実際、ビジネス名を英語にして、日本語での個人預金口座にした場合は、排除されない場合もありますので、ここは、自己責任の元において、一度試されてみてもよろしいかと存じます。

Q-どうして、この仕組みでは、クレジット・カードは送金口座と同じものをビジネス・ アカウントに登録できないのですか?

A-PayPal 口座を開設した後は、いくらでも追加登録でクレジット・カードを登録する ことができます。ただし、そのばあい、認証の手続きがあり、そこでチェックされえ ます。

また、同じクレジットカードでなくても、同一のクレジットカード会社のカードであると、認証が片方のカードに限定される場合もあるようです。

ですから機能拡張を目的としての認証は、送金する側のカードについてのみ行ったほうがいいようです。

Q-この仕組みでは、「受け手の PayPal 口座ビジネス・アカウント」で登録するクレジットカードは、登録だけで使わないのですか?

A- 使いません。

Q-この仕組みでは、「送り手の PayPal 口座パーソナル・アカウント」で登録する払い 出し預金口座は、登録だけで使わないのですか?

A- 使いません。

この「送り手の PayPal 口座パーソナル・アカウント」の場合は、払い出し預金口座を すぐに登録しなくても差し支えありません。 Q-この仕組みでは、どうして、送金する「送り手の PayPal ロ座パーソナル・アカウント」を英語名で、受け入れる「受け手の PayPal ロ座ビジネス・アカウント」は日本語 名と英語名で、登録するのですか?

A-両者の資金のやりとりが海外取引を想定して行っているからです。 「受け手の PayPal 口座ビジネス・アカウント」から「送り手の PayPal 口座パーソナ ル・アカウント」へ請求する通貨はドルで行いますので、PayPal 口座ビジネス・アカ ウントも英語名としたほうがドルベースでの取引ということになります。

ドルで送金の請求を行うのは、請求を受け支払う個人が海外取引をしていることを示 すためのものです。

PayPal __

VISA 🚾 🗖 🖬

Q-この仕組みで使えるクレジットカードの種類はなんですか?

A-PayPal で決済可能なカードの種類は

Visa,

Master,

JCB

のマークがついているカードです。

なお、このなかでもリボ払い選択が可能なものを選択してください。 Diners や AMEX は日本の PayPal では使えません。

Q-この仕組みでは、どうして、「受け手の PayPal 口座ビジネス・アカウント」から 「送り手の PayPal 口座パーソナル・アカウント」へ送金請求をする場合に、パーソナ ル・アカウントへ「Good の代金」としての送金請求をドル・ベースで行うのですか?

A-「Good の代金」としてドル・ベースで送金請求をしないと、クレジットカードでの リボ払いができなくなるからです。

Q-この仕組みでは、途中、「円からドルへ」と「ドルから円へ」と、二回、通貨が変わるわけですが、円高・円安の影響はあるのでしょうか。

A-送金時に円からドルへ変換される時は、円高時のほうが円安のときよりも、兌換率 は得になります。

送金を受けいれ、預金口座からの払い出し時にドルから円へ変換される時は、円安時 のほうが円高のときよりも、兌換率は得になります。

もっとも、送金時期と払い出し時期とは近接しているので、ドル円のスプレッドが広 い場合はともかくも、通常は、プラスマイナスではさして為替変動による影響はない ものと思われます。

Q-この仕組みで、デビットカードを使うメリットはなにですか?

A-デビットカードは、受け入れのPayPal ビジネスロ座で使いますが、別に使えるクレジットカードがある場合は、これでもかまいません。

ただ、二枚目のクレジットカードがない場合、審査の厳しいクレジットカードを新た に求めるよりも、信用審査がないデビットカードのほうが得やすいからです。

なお、前にも話しましたように、受け入れの PayPal ビジネスロ座では、カードは、た だ登録するだけで使うことはありません。

Q-PayPal 口座とクレジットカードとの関係が、いまだに、よくわかりませんが。

A-ちょっと専門的になりますが、PayPal には「ストア・バリュー」という概念があります。

「ストア・バリュー」というのは、文字通り、「価値を蓄える」という意味です。

いってみれば、「送り手の PayPal 口座」が、一時的にクレジットカードの持つ価値を蓄 え、「受け手の PayPal 口座」で、その蓄えた価値を吐き出す、ということです。

ここは、皆さんおなじみのスイカ・カードを連想してみるとわかりやすいかもしれません。

スイカ・カードにチャージをし、お金の価値をカードに詰め込んでから、買い物の際 にその価値を吐き出させる、そのスイカ・カードと同じ機能を持ったものが PayPal 口 座とかんがえてください。

いったんクレジットカードからお金の価値を一方のPayPal 口座に詰め込み、これを送 金先のPayPal 口座にお金の価値を移転し、その相手方のPayPal 口座から、お金の価値 を預金口座を経由して現金として吐き出す、と考えてください。

ですから、決済は瞬時ですからそれはわかりませんが、PayPal 口座の決済過程をス ローモーションで見た場合、下記のようになりえます。

「①支払人のクレジット・カードから支払人の PayPal 口座へ価値を移転する→②支払人の PaPal 口座にクレジットカードの価値を蓄える→③支払人の PaPal 口座から受取人の PayPal 口座へ価値を移転する→④受取人の PayPal 口座に価値が移転される→⑤蓄積された価値を吐き出し、現金に換え、受取人の預金口座に現金として移転する」

Q-今回の資金決済法改正の特徴とはどのような内容なのですか?

A- 平成二十二年四月一日から、銀行以外のものが銀行の振込み業務にあたる資金の移動の業務をすることが、一回の送金100万円を限度とした小額送金に限り、可能になったということです。

以上です。

2. デビット・カードについて

前のQ&Aのコーナーで述べましたように、受け入れのPayPal ビジネスロ座で用意しなければならない登録用のカードは、登録するだけですので、審査の厳しくないデビットカードで代用することができます。

もちろん、この場合、別に使えるクレジットカードがある場合は、これでもかまいま せん。

ただ、二枚目のクレジットカードがない場合、審査の厳しいクレジットカードを新た に求めるよりも、信用審査がないデビットカードのほうが得やすいからです。

デビット・カードは収入のない無職のかたでも、一定の年齢以上(スルガ銀行の場合は 中学生を除く15歳以上)の方であれば誰でも持つことができ、また、決済口座に残高を おきさえすれば、普通のクレジット・カードと同じVISAなどでの支払いをすることが できます。

デビット・カードにも、楽天銀行のものなど、いろいろありますが、このマニュアルではスルガ銀行の「Visaデビット」の求め方を書いてあります。

デビット・カードに信用審査がないのは、デビットカードは、預金残高の範囲内しか、 カード余力がない VISA だからです。

カード会社にとってみれば、資金回収の取りこぼしのないカードといえます。 なお、参考サイトとしては、次のものをご参照ください。

スルガ銀行の「Visa デビット」(郵送での書類のやりとりがあります。) http://www.surugabank.co.jp/surugabank/kojin/service/benri/visa_debit/

楽天銀行のデビットカード(インター・ネットでの手続きだけでカードが得られます。) http://www.rakuten-bank.co.jp/card/debit/





3. ビジネス名義預金口座について

前章に見ましたように、資金を受け入れる PayPal 口座ビジネス・アカウントには、資 金払い出し用の口座として、個人の普通預金口座でない、ビジネス名義の預金口座の 登録が求められます。

もちろん、すでに個人名義ではなく、また、あなたの裁量で残高管理ができる法人名 やNPOや団体名の銀行普通預金口座(あなたの名前が代表者名として記載のもの)をもっ ていらっしゃる方は、ここでは、それを流用することで結構です。

問題は、これらの法人名の預金口座を銀行に申し込むと、法人の登記簿謄本や法人の 印鑑証明などを求められ、それがないと、開設できないことです。

そこで、そのようなかたのためにここでお勧めするのが、「楽天銀行ビジネスロ座」で す。



「楽天銀行ビジネスロ座」には「法人ビジネスロ座」と「個人ビジネスロ座」とがありますが、ここでお勧めするのは、「個人ビジネスロ座」のほうです。

なぜかというと、「法人ビジネスロ座」では、登記されていない法人やネットビジネス用 の営業性個人口座は受け付けてくれないからです。

楽天の個人ビジネスロ座は、口座名義に屋号などを使うことができます。

すでに楽天銀行に個人口座を持っている方や、楽天銀行に併合前のイーバンク時代か ら口座を持っている方は、簡単な手続きで、個人名義口座のほかに、屋号名義の個人 ビジネスロ座をもっことができます。 楽天銀行の個人ビジネスロ座については次のサイトなどをご参照ください。

楽天銀行の個人ビジネスロ座

http://www.rakuten-bank.co.jp/smallbusiness/

なお、ジャパンネット銀行にも、楽天銀行と同じようなビジネスロ座がありますが、 こちらのほうは、審査もあり、また、口座開設に当たっては、インターネットサイト の設置があることが求められますので、お勧めできません。

4. ここがチェック・ポイント

① PayPal 口座の特性をよく理解しておきましょう。 何ができるのか?何が出来ないのか?その中で出来ることは?

②どうして、わざわざ、英語と日本語を混ぜて登録したり、ドルで決済したり、わざ わざ請求したりするのか、その意味を理解しましょう。 クレジット会社が請求者と支払い者とを並べて見た場合、表面上はマッチして見えな いようにするためのものと見てはいかがでしょう。

③デビット・カードは残高の範囲でクレジットカードと同じ働きが出来るカードですが、ここでの仕組みでは、単なる登録要件を満たすためのカードであることを理解しましょう。

④ビジネス名義での預金口座の取得というのが、このマニュアルの仕組みの中でも、 最重要ポイントです。でもビジネス名を英語にして登録すると?どうなるでしょう?

⑤ PayPal もクレジットカード会社も、要件が厳しいのは、マネーロンダリングを警戒 しているからです。

たまに、口座がロックされることもありますが、その場合は、PayPal 側の意向という よりは、クレジット会社側の意向が働いているものと思われます。

その意味では、たとえば、不信に思われるような連続クリックや、同じ IP のコン ピュータからの連続アクセスや、一度に多額の資金移動のないように注意しましょう。

⑥同じ方法をとったとしても、時によって、PayPal 側やクレジットカード会社が、この仕組みの遂行を拒絶する場合があります。

その場合は、一日くらい間を置いて、再度、トライしてみるとうまくいくことがあります。連続トライはいけません。

第三章 「送り手の PayPal 口座・パーソナル・アカウント」を作る-第一段階-

では、これから、いよいよ、段階を踏んで、クレジットカード・ショッピング枠自力 現金化への仕組みを作っていきましょう。

七段階ありますが、この第三章は第一段階の説明です。

第一章との繰り返しになりますが、第一段階は、次の手順で「送り手の PayPal 口座・ パーソナル・アカウント」を作ります。

①あなた名義のメール・アドレスを用意する

このメール・アドレスは、フリー・メール(gmail など)でも結構ですが、確実にあなた に連絡がつくアドレスにしてください。

②あなた名義の有効なクレジット・カードを用意する

この場合、用意するクレジット・カードは、PayPalで決済可能なカード(Visa、 Master、JCB)のマークがついているカードで、リボ払い選択が可能なものです。 Diners、AMEX は日本からでは使用できません。

③あなた名義の預金口座を用意する

これは登録するだけのものですので、特に急ぎません。 登録は後でも結構です。普段 お使いの銀行のあなた名義の普通預金口座をご用意ください。

④あなた名義の「送り手の PayPal 口座パーソナル・アカウント」を作る
 PayPal 口座には三つの種類(パーソナル。プレミア、ビジネス)がありますが、ここで

作るのはそのうちのパーソナル・アカウントです。

上記のうち、①②③については、これ以上の説明は不要でしょう。

まず、上記の条件に合った①メールアドレス②クレジットカード③あなた個人の預金 通帳(これは後でも結構) を手元に用意してください。

この第三章では、このうちの「④あなた名義の「送り手のPayPal 口座パーソナル・ア カウント」を作る」を中心にして、逐一、説明していきます。

では、はじめましょう

1. 「送り手の PayPal 口座・パーソナル・アカウント」を作る手順

① PayPal のサイトを開く

サイト

http://www.paypal.jp/

にアクセスしますと、日本語の PayPal サイトが出てきます。

英語のサイトが出てきた場合は、右上の「English」とあるのを「日本語(Japanese)」 にかえます。

②アカウントの開設

出てきた日本語サイトの右上に黄色で「アカウントの開設」「新規登録」とありますの で、」「新規登録」をクリック



③「PayPal アカウントの作成」というページ

「PayPal アカウントの作成」というページが出てきます。

「国または地域」=「日本」

「言語」(海外取引をお考えの場合は、英語で新規登録してください)=「English」 を選択してください。

言語に英語を選択するのはドルベースでの「海外取引」を前提としているからです。 言語をかえますと、ここからサイトが英語にかわります。

④ 「Create your PayPal account」 $\mathcal{O}^{\mathcal{A}}$

「Create your PayPal account」というページが出ます。

「Personal」「Get Started」をクリック

	Unsetly have a PapPal account? <u>Dograde inte</u> r
Premier for individuals who buy and self online	Business For merchants who use a company or group name
	Premier For individuals who buy and set online

⑤「Enter your information」というページ

「Enter your information」というページが出ます。

インフォメーション欄に登録必要事項を記入していきます。
ここでは、あなたの名前、住所などを記入していきます。
記入例では
「住所 - 〒 123-4567 東京都港区白波 2 丁目 4 番 6 号ブルータワーレジデンス 1220 号」
英語読みでは「Blue Tower Residences #1220, 2-4-6, Shiranami, Minato-ku, Tokyo」
「氏名 - 山田 誠」英語読みではFirstName「Makoto」 LastName「Yamada」
「電話番号 -012-3456-7890」
「生年月日 - 1980 年 5 月 5 日」
となっています。

では、順番から記入していきます。

「Email address」 メールアドレスをご記入ください。このメールアドレスが口座設定後のログイン ID と なります。

「Choose account password」 最低8文字(英数字)からなるパスワードをご記入ください。日本語は使えません。

「Re-enter password」 上記パスワードをもう一度ご入力ください

[Last name] あなたの姓を英字でご記入ください。例「Yamada」 「First name」 あなたの名を英字でご記入ください。 例「Makoto」 Date of birth 生年月日の記入です。 yyy(年) mm(月) dd(日) 1980 年 5 月 5 日であれば「yyy 1980 mm 05 dd 05 | とご記入ください。 [Nationality] 国籍です。すでに「Japan」と出ているはずです。 [Postal code] 郵便番号です。例「123-4567」 [Prefecture] 都道府県名です。クリックしますと Tokyo などと出てまいりますので都道府県名を選 んでください。 例「Tokyo」 [City] 市区町村名です。 例「Minato-ku」 [Address line 1] 住所その1です。例「Shiranami 2-4-6, Blue Tower Residences #1220」 [Address line 2 (optional)] 住所その2です。住所その1に書ききれないときに使用してください。(ほとんどの場合 は空白で結構です。) [Phone number] 電話番号です。すでに日本国の国番号「+81」が記入されていますので、後の数字をご 記入ください。 固定電話番号でも携帯電話番号でも結構です。 固定電話番号例「012-3456-7890」 なお、携帯電話番号の場合は、「+81」の国番号を入れますと 携帯電話番号が090-1234-5678の場合は+819012345678と書きます。

27

電話番号入力でエラーがよく出る(特に日本語での入力の場合のようですが)ようです。 その場合は、いったん、「88888888888」と入れてアカウント獲得後に修正しといてくだ さい。

以上を記入し終わったら、黄色のコラム「Agree and Create Account」をクリックしてください。

あまり上記の記入に時間がかかると次のようなエラーメッセージ「Sorry -- your PayPal session has timed out」が出てしまいます。その場合はお手数ですが、記入 をやり直してください。事前に記入項目をメモ書きしておくとスムーズにいきます。 「Agree and Create Account」をクリックしますと次のページが出てきます。

⑥クレジットカードの登録

「Make the most of your PayPal account」というページが出ます。

[Credit card number]

あなたが用意したクレジットカードの番号を記入します。

「Expiration date」
クレジットカード記載の満期日です。
Month
月です。
Year
年です。
CSC
セキュリティコードです。カード裏面の署名欄に書いてある数字のいちばん右側にある通常3桁の数字です。
半角で入力します。

記入し終わったら「Continue」をクリックします。

⑦クレジットカードと PayPal アカウントとのリンク結合完了

「Your credit card was linked to your PayPal account」 という名前の画面が出ます。 この時点であなたのクレジットカードから200円が課金されます。(クレジットカードの 有効性を確かめるための課金であり、後ほどこの200円は返金されます。) なお、課金には認証の手続きが必要です。これについては、以下の「**カードの認証につ いて**」をご参照ください。

⑧「Go to my account」をクリック登録完了

これで PayPal 口座パーソナル・アカウントの登録は完了です。

「Go to my account」をクリックして、あなたのアカウントのページに移動します。

2. カードの認証について

カードを登録しても、カードの認証が済んでいないと、「マイアカウント」の「ステー タス」はまだ「認証済み」とはなっていません。

「認証を実行する」となっています。

カードのPayPal 当初 使用時での巨額な事故を防ぐため、認証前のカードでの取引に は、一定の限度額が設けられております。

認証前のカード使用限度額は約30万円といわれていますが、一挙に大量の金額の使用 などの場合は、それ以下であっても制限がかかってしまうことがあるようです。

このままですと、カードの本来持っている機能は、フルに使えませんので、 ここで 「機能拡張プログラム」というものを発動するための「認証」の手続きが必要になりま す。

認証は以下の手続きによります。

①ログインし「マイアカウント」のページを出してください。サイトが日本語にかわっていない場合は、例によってサイト右上の「English」を「日

本語(Japanese)」にかえてください。

ステータスその右側にある「認証を実行する」というリンクをクリックします。

②クレジットカードがまだ登録済みでないと、次にクレジットカード(またはデビットカード)情報入力のページがあらわれます。

前記記載の手順で、氏名やクレジットカード番号などを入力します。 カード情報の入力ができたら、「続行」ボタンをクリックします。

29

③カード会社で200円の決済がされる

あなた自身のカードである証明をするため200円が登録されたカードからPayPalに よって決済されます。

決済された 200 円円は 24 時間以内(通常は即座)に PayPal アカウントに返金されます。

PayPalの円建ての残高が200円になっているはずです。

なお、ここでデビット・カードを決済に使われている方に注意ですが、デビットカー ドは残高がないと決済に使えません。

少なくとも200円の残高が200円決済前にあることもご確認ください。

④ PayPal からの200円のカード決済の明細に書かれた4桁の番号(ペイパルコード)を、カード会社へ電話し、確認します。

この部分がちょっと厄介です。

カード会社によって、ここの部分が異なりますが、たとえば楽天カードやVISAの場合、 カード会社のカスタマーサポートに電話して、「ただいま、PayPalから200円を決済さ れたはずだが、そのときの4桁の番号(ペイパルコード)を確認したい」と、カード会 社に告げますと、一定の本人確認の後、教えてくれます。

カード会社のサイトでオンラインで確認できるカード会社もあります。

⑤ PavPal コードを登録して認証を完了させる

「マイアカウント」のページの上部にあるメニューの「個人設定」→「クレジットカー ドの登録または編集」をクリックします。

次に「PayPal コードの入力」をクリックします。

4桁のペイパルコードを半角数字で入力し、「カードの確認」ボタンをクリックしま す。

⑥「認証済みとなりました」というメッセージ

「認証済みとなりました」というメッセージが表示されればあなたのカードの認証は完 了です。

「閉じる」ボタンをクリックします。

⑦認証済みを確認する

マイアカウントの概要ページへ戻ると「ステータス」が「認証済み」になっているの を確認します。

また、「PayPal 引き出し限度額解除のお知らせ」との件名のメールが届いているはずです。

以上で、あなたが登録したクレジットカードは決済に使えるようになりました。

あなたのPayPal 口座・パーソナル・アカウントは完成です。

3. 払い出し用預金口座の登録について

この仕組みでは、この PayPal 口座・パーソナル・アカウントは資金の送金のみに使うので、資金の払い出し用預金口座の登録はさしあたって必要ありません。

ただ、パーソナル・アカウントを本格的に使いたい場合には、払い出し用預金口座の 登録をします。

この登録方法は、「第四章 (2)払い出し用預金口座の登録手順」(44ページ)をご参照く ださい。

4. ここがチェック・ポイント

①先にも書きましたが、住所などの記入項目は、あらかじめ、このマニュアルにしたがって、事前にメモ書きしておくと、入力がスムーズにいきます。
 入力に手間取っていると、やり直しをさせられますので。

②この章でのポイントの第一は、クレジットカードの登録とその認証の過程です。 預金払い出し口座の登録は、それに比してこの章では重要ではありません。

③電話番号の入力で蹴られる場合が結構多いようですので、この場合は、自分の番号 にこだわらずに仮の番号をマニュアル記載のように暫時入れておき、後にアカウント 取得後に修正としたほうがよろしいようです。 第四章 「受け手の PayPal 口座・ビジネス・アカウント」を作る-第二段階-

では第二段階に移ります。

ここでは、前章の第一段階で作った「送り手の PayPal 口座・パーソナル・アカウント」 で、クレジットカードのショッピング枠を使って送金した、お金の受け皿作りをしま す。

つくる受け手の口座は、「PayPal 口座・ビジネス・アカウント」です。

具体的な手順は次のとおりです。

①あなた名義のメール・アドレスを用意する

このメール・アドレスは、「送り手の PayPal 口座・パーソナル・アカウント」で登録し たメールアドレスとは異なるものを用意してください。また、フリー・メール(gmail など)でも結構ですが、確実にあなたに届くものを使ってください。

②あなた本人名義の送り手の PayPal 口座・パーソナル・アカウント」で登録したのと は異なるクレジットカード、または、それがない場合は、スルガ銀行などのデビット カードを作る

このあなた名義のクレジットカードまたはデビットカードは、ただ単に PayPal 口座に 登録するためのもので、このカードで決済に使うことはありません。

余分のクレジットカードがない場合は、いったん、第五章の「1. デビット・カードの 作成手順」(49ページ)に飛んで、作成後に、また戻ってきてください。

③あなたの裁量で残高管理が可能な、あなた本人名義のビジネス名義の預金口座また は「楽天銀行個人ビジネスロ座」を作る

ビジネスロ座にはあなたの名義とは異なるビジネス名義の預金口座の登録が必要です もしあなたが、個人名義でない、法人名義やNPO名義の口座(あなたの名前が代表者名 として記載のもの)を都市銀行・地方銀行・信用金庫などにお持ちの場合は、その口座 で結構です。

それらがない場合は、いったん、第六章の「2. ビジネス名義預金口座の作成手順」(53 ページ)に飛んで、楽天銀行個人ビジネス口座を作成後に、また戻ってきてください。 ここで、PayPalの英語サイト「Add a bank account in Japan」では、原則は「登録口 座名はビジネス名に一致する必要があり、個人名での預金口座は引き出しに失敗する」 としていますが、ビジネス・アカウントでのビジネス名を英語名で登録し、登録引出 し預金口座名が日本語の場合、必ずしも、そうではない場合もあるので、楽天銀行個 人ビジネスロ座作成が荷が重い方は、個人名での預金口座登録を、はじめに、自己責 任で試みてみてもよろしいかと存じます。

では、はじめましょう。

ここで作る PayPal 口座は前章でのパーソナル・アカウントではなく、ビジネス・アカ ウントです。

次の条件に合う方

①メール・アドレス

メール・アドレスをすでにお持ちの場合

②クレジットカード

送り手 PaPal 口座で使ったクレジットカード以外のクレジットカードを所有している場合

③ビジネス名義の預金口座

ご自分の裁量で残高管理が自由にできるビジネス名義の預金口座(あなたの名前が代表 者名として記載のもの)を、すでにお持ちの場合

以上の条件が満たされている場合は、このまま、「受け手の PayPal 口座ビジネス・アカ ウント」の作成に入ります。

以上の条件が満たされていない場合は、第五章の「3. クレジットカードと払い出し用 ビジネス名義預金口座の登録手順」(44ページ)にいったん飛んで①デビットカード②ビ ジネス名義・預金口座を作ってきてから「受け手の PayPal 口座・ビジネス・アカウン ト」の作成に入ります。

あるいは代替手段として、ビジネス・アカウント獲得後にいったん個人預金口座を引 き出し口座に登録し、排除されないかどうか試されても結構です。

ただしこの場合は、きわめてケースバイケースの裏技的となりますので、本マニュア ルにおいては、自己責任の範疇となりますが、ビジネス名を英語で登録した場合には、 成功するケースも多いようです。

では、準備ができた方は始めましょう。 ここで作成するのは、PayPal 口座・ビジネス・アカウントです。

二つの方法があります。

ひとつは、パーソナル・アカウント作成を経ずに、一挙にビジネスアカウントを作成 する方法です。

もうひとつは、いったん、パーソナル・アカウントを作成してから、次に、ビジネス・ アカウントへグレード・アップする方法です。 ここでは、前者の「パーソナル・アカウント作成を経ずに、一挙にビジネスアカウン トを作成する方法」を中心に説明をしていきます。

なお、後者の「パーソナル・アカウントを作成してから、次に、ビジネス・アカウン トヘグレード・アップ」については、「2. PayPal 口座「パーソナル・アカウント」から 「ビジネス・アカウント」へのアップ・グレード手順」(42ページ)で、解説してありま す。

以下は その手順です。

1. 「受け手の PayPal 口座ビジネス・アカウント」を作る手順

① PayPal のサイトを開き日本語サイトに切り替える

サイト

http://www.paypal.jp/jp

をクリックしますと、英語の PayPal サイトが出てきますので、出てきたサイトの右上の「English」をクリックし「日本語(Japanese)」に切り替えます。

②アカウントの開設

出てきた日本語サイトの右横に黄色で「アカウントの開設」「新規登録」とありますの で、「新規登録」をクリック

③ PayPal アカウントの作成

「PayPal アカウントの作成」というページが出てきます。

「国または地域」=「日本」 「言語」(海外取引をお考えの場合は、英語で新規登録してください)=「English」 を選択してください。ここでサイトが英語表示にかわります。

(4) [Create your PayPal account]

「Create your PayPal account」というページが出てきます。

「Business」の下の「Get Started」をクリックしてください。

(なお、すでにパーソナルアカウントをお持ちの方は、この横にある「Already have a PayPal account? Upgrade now」をクリックしてください。 42ページで、それ以降の手順を解説をしております。記入事項は以下と同じです。) 34

⑤「Account Sign Up」のページ

「Account Sign Up」「Business Account」というページが出てきます。

このページは、英語と日本語の二種類で書いていきます。 記入箇所は前半の「Business Information」と後半の「Business Owner Contact Information」とに別れます。

前半の「Business Information」は、英語で書いていきます。 後半の「Business Owner Contact Information」は、日本語で書いていきます。

PayPal	<u>1</u>	Los to 1 tests 1 Security Center
Ingene Accessed - Printer Printer	a gladani.	
Business Account Se	tup	
• indicates required fields		Secure Dressaction
Business Information		
-Business Type:	- Choose a Category	
"Business Name:	BauerEvana	
Mddress Une In	123 Steel	
Address Line 2:		
City	Statements and	
"State:	VT 💌	
121P Codes	05404	
Country	United States	
Work Phone:	est.	
thert-word category:	- Choose a celegory	Providing us with this information about
Subcategory:		your account and allows up to serve your
Average Transaction Price:	- Choose a Value - 🛛 💥	that the information you provide in
Average Northly Volume:	- Choose a Value -	HE HERE THE REAL PLAN
Sales Versel(s):	eter	with your outlanters.
	Other Marketalape	 The many set of the set of the

ここで記入例としては下記のものを想定しています。 登録前に同じように、あなたの記入事項とその英語読みを、メモに書いておくと、そ の後の入力が楽になりますよ。

ビジネス情報

「事業名-山田ビジネス 英語読みでは"Yamada Business"」 「事業のカテゴリー教育 英語では"Education"」 「会社の住所-自宅と同じ「住所-〒123-4567 東京都港区白波2丁目4番6号ブルー タワーレジデンス1220号」 英語読みでは「Blue Tower Residences #1220,2-4-6,Shiranami, Minato-ku,Tokyo」 「会社の登録国-日本」 「会社設立日-2011年1月7日」 「事業タイプー個人事業主 英語読みでは"sole proprietorship"」 「主要通貨-米ドル」 「ホームページ・アドレス-http://www.yamadad.com/ 」 「メール・アドレス-****@***.net」

ビジネスオーナーに関する個人情報

「住所 - 〒123-4567 東京都港区白波2丁目4番6号ブルータワーレジデンス1220号」 「氏名 - 山田 誠」 「電話番号 -012-3456-7890」 「生年月日 - 1980年5月5日」

6 [Business Information]

では、前半の「Business Information」を、英語で書いていきます。

なお*印は必須記入項目です。

*Business Name 「事業名」です。 ここは必ず英語名で登録しといてください。たとえば、「〇〇〇 USA Commerce」(〇〇 〇はあなたの英語読み)などといった具合です。ここの部分は、かならずしも、引き出 し預金口座名と平仄を合わせる必要はないようです。 例「Yamada Business」「Yamada USA Commerce」

*Category 事業の分類「カテゴリー」です。

無難な「教育」とか「その他」などを選んでおいてください。例「Education」

*Postal code 事業地の「郵便番号」です。 例「123-4567 」

*Prefecture 事業地の「都道府県」です。 例「Tokyo」

*City 事業地の「市区町村」です。 例「Minato-ku」

*Address line 1 事業地の「住所一行目」です。 例「2-4-6,Shiranami」
Address line 2 事業地の「住所二行目」です。 例「Blue Tower Residences #1220 」

Country of registration: 「登録国」です。すでに「Japan」と入力されているはずです。

*Date of Registration 事業の「設立日」です。今日の日付で結構です。
 /MM/DD は年月日の順です。
 2011年2月11日設立の場合は「2011/02/11」とお書きください。

*Business Type 「事業タイプ」です。 個人事業主として "sole proprietorship" を選んでおいてください。 例「sole proprietorship」

*Primary Currency 「ドル」を選択してください。 例「U.S.Dollars」

*Customer Service Email 事業の「メールアドレス」です。 このメールアドレスが口座設定後のログイン ID となります。 パーソナル・アカウントに使ったものでない、また、フリーメールでも結構ですが、 着実にあなたに届くものを書いておいてください。 例「****@***.net」

Customer Service Phone: 事業用の電話番号の登録です。自宅の電話番号で結構です。 すでに国番号(+81)が記載されています。パーソナル・アカウントで登録したものでな い番号のほうがベターです。携帯でも結構です。入力しづらい時は仮の 「8888888888」等を入れといて、アカウントを得た後に修正されても結構です。 例「012-3456-7890」

*Business URL

事業地のホームページのURLです。

日本語のサイトでは要求されていませんが英語サイトでは必須記入項目になっています。

ご自分のブログのURLでも、極端に言えば、なんでもといいと思います。いちいち検証 はしないようですので、適当で結構です。

例「http://www.yamadad.com/ 」

⑦ 「Business Owner Contact Information」

では、次に、後半の「Business Owner Contact Information」を、日本語で書いてい きます。

Country of Othermonitip: United Kingdom with the owner of the bosine owner or contact person owner or contact person of the bosine owner owner or contact person of the bosine owner own	iss, if you are th , enter your
Wark Telephone: (cottone) Middle Telephone: (cottone)	C House Mark
Museur Teleptonei (optional) Mutdu Teleptonei (optional)	
Multide Todeptioner: (optioner)	
Address Line 1	
Address Line 2	
(aptional) owner of this business. 7	The owner's
FearvCity: personal address and by	CONTRACTOR OF A
County: W to not thank.	res secont map
Pestcode:	
Country United Management	

*Last Name 漢字で「姓」を書いてください。 例「山田」

*First Name 漢字で「名」を書いてください。 例「誠」

*Date of Birth 「誕生日」です YYYY/MM/DD は年月日の順です。 1980年5月5日生まれの場合は「1980/05/05」とお書きください。 *Nationality 「国籍」です。 例「Japan」 *Work Telephone 事業用の電話番号ですが、自宅電話番号で結構です。 例「電話番号-012-3456-7890」 Home Telephone 自宅用の電話番号ですが、記入は不要です。 Mobile Telephone (+81) 携帯電話番号ですが、記入は不要です (optional) Postal code 郵便番号ですが、記入不要です。 Prefecture 「都道府県」ですが、記入不要です。 City 「市町村名」ですが、記入不要です。 Address line 1 「住所」ですが、記入不要です。 Address line 2 「line1」に書ききれない住所ですが、記入不要です。 Country: 「国籍」です、すでに「Japan」と書いてあります。 \Box I am the sole owner of this business 単独経営者であることの確認です。 □の中にチェックを入れてください。

以上で、必要事項の記入が終わりました。

⑧「Continue」を クリックします。

④ Account Sign Up のページ

「Account Sign Up」「Business Account」のページが出ます。 *印は必須記入項目です。

Email Address メール・アドレスの記入です。 Re-enter Email Address メール・アドレスの再記入です。 Create account Password 最低8文字の英数字でパスワードを作ってください。日本語ではダメです。 なお、このパスワードは控えておいてください。

Confirm Password 上記のパスワードをもう一度ご入力ください。

Password Recovery パスワードを忘れた場合に復旧するための、あなたしかわからない答えを引き出すた めの質問二つです。

1st Security Question 例「Favorite Movie」
「Favorite Movie」(好きな映画のなまえは?)などを選び、答えとして「Sound of
Music」(サウンドオブミュージック)などと記入してください。なお、この質問と答え
は、このときに控えといてください。
後ほど、パスワードを忘れたときの復活に重要な質問と答えとなりますので。

Answer 例「Sound of Music」

2nd Security Question 例「Childhood best friend」 前とは異なる質問を選んでください。「Childhood best friend」(子供時代の親友の名 前は?)などを選び、答えとして、あなたの子供時代の親友の名前をローマ字でお書き ください。たとえば「Tomoko」などと。 これも、後のために控えておいてください。 Answer 例「Tomoko」

Security Measures

□ I agree to the User Agreement and Privacy Policy. プライバシーポリシーへの同意です。四角の中にチェックを入れてください。

Do you understand your rights with regard to the arbitration of claims as outlined in the Legal Disputes section of the User Agreement? 法的な同意を求めるものです。「○Yes ○No」の「○Yes」の中にチェックを入れてください。

 \bigcirc Yes \bigcirc No

Enter the code as shown below コラム内に、下に見える英数字を記入してください。

「Sign Up」をクリックしてください。

①「Done」のページ
 「Done」(登録画面完了)のサイトが出ます。

「登録完了画面」がでます。

その後まもなく、登録したメール・アドレスあてに PayPal から「PayPal アカウントの 利用開始」のメールがとどきます。

メール内の「こちらからアカウントの利用を開始」をクリックしてください。

ログインのパスワードを入力して「ログイン」をクリックしてください。

これで、PayPal 口座ビジネス・アカウントの登録は終わりました。

2. PayPal 口座「パーソナル・アカウント」から「ビジネス・アカウント」へのアップ・ グレード手順

すでにPayPal 口座パーソナル・アカウントを持っているかたは、以下の手順によって、 ビジネス・アカウントへアップグレードすることが出来ます。

パーソナルアカウントからビジネスアカウントへのアップ・グレードは、概略次の6つ のステップで行います。

第一ステップ-PayPal アカウントにログイン 第二ステップ-PayPal 残高表示欄のすぐ上の [アップグレード] をクリック 第三ステップ-[アップグレードする] をクリック 第四ステップ-ビジネスアカウントを選択 第五ステップ-[続行]をクリック 第六ステップ-事業情報を入力して [送信] をクリック

以下は、その手順です。

なお、すでに、35ページの「⑤「Account Sign Up」のページ」で手順が解説されてい る部分については、35ページの該当部分をご参照願います。

では、順を追ってやっていきましょう。

アップ・グレード手順

①登録したメールアドレスとパスワードであなたのアカウントにログインします。

②英語サイトが出てきましたら、例によって、右上の「English」を「日本語 (Japanese)」に切り替えてください。

③「ようこそ、**** 様」の下の「 * アカウントタイプ: パーソナル アップグレード * ステータス: 認証済み 」の「アップグレード」をクリックしてください。

④「アカウントのアップグレード」というサイトが出てきますので「アップグレード する」をクリック

⑤[今すぐアップグレード]をクリック

⑥ビジネスアカウントを選択

⑦[続行]をクリック

⑧「事業情報、事業主の連絡先情報の登録フォーム」のページ 「事業情報、事業主の連絡先情報の登録フォーム」が表示されます。 ここの記入の項目ならびに記入の仕方は、すでに「⑤「Account Sign Up」のページ」 で解説してあるものとおなじです。35ページの「⑤「Account Sign Up」のページ 」をご参照ください。

事業情報・事業主情報を入力して [送信] をクリックします。

⑨ PayPal 管理画面にログインするための登録画面が出てまいります。 以下の項目を入力してください。

ログインのためのメール・アドレス パスワード

「パスワードの復旧」

万が一、パスワードを忘れた場合の「秘密の質問」の設定です。

どんな答えを書いたのか、控えておいてください。

ここの部分も35ページの「⑤「Account Sign Up」のページ」と同じですので該当部分 をご参照ください。

ユーザー規約などへの同意

「ユーザー規約」「プライバシーポリシー」に「同意します」に「はい」とチェックを 入れてください。

「英数字のコード」を入力欄に入力

最後に「登録」をクリックしてください。

⑩「登録完了画面」がでます。

①その後まもなく、登録したメール・アドレスあてに PayPal から「PayPal アカウントの利用開始」のメールがとどきます。

メール内の「こちらからアカウントの利用を開始」をクリックしてください。

ログインのパスワードを入力して「ログイン」をクリックしてください。

以上で、PayPal 口座パーソナル・アカウントからビジネス・アカウントへのアップ・ グレードは完了です。

43

3. クレジットカードと払い出し用ビジネス名義預金口座の登録手順

PayPal 口座ビジネス・アカウントにおいては、アカウント登録後のクレジットカード と払い出し用ビジネス名義預金口座の登録となります。

(1) クレジットカードの登録手順

クレジットカードの登録手順については、前章である第三章の「⑥クレジットカード の登録」(28ページ)をご参照ください。

なお、この「受け手のPayPal 口座ビジネス・アカウント」においては、クレジット・ カードは単に登録するだけです。

したがって、認証の手続きも要りません。

この点が、前章でのクレジット・カードの登録と大きく異なる点です。

ここでは、一番重要となる払い出し用ビジネス名義預金口座の登録手順を中心に、そ の手順を述べていきます。

(2) 払い出し用預金口座の登録手順

ここが、この仕組みのうちで最大の難関といえます。

すなわち、すでに法人名義やNPO名義の預金口座(あなたの名前が代表者名として記載 のもの)をお持ちで、その口座の管理をご自分の裁量でできる方は、どうということは ありません。

そのまま、その口座番号をここで、以下によって登録すればいいだけの話です。 問題はそれらの口座がない方です。

PayPalの規定では、ビジネスロ座に登録の銀行口座名は、あなたがビジネス・アカウントに登録したビジネス名に一致するべし、として、あなたの個人名の預金口座では、 PayPal 口座ビジネス・アカウントから預金口座に払い出す場合、引き出しに失敗する場合がある、としています。

ですから、ここで、あなたの個人預金口座を登録することはできません。

では、ここでいうように、ビジネス・アカウントのビジネス名とビジネス預金口座の 名義とが完全に一致となければならないかというと、必ずしもそうではないようです。 繰り返しになりますが、ここで、PayPalの英語サイト「Add a bank account in

Japan」では、原則は「登録口座名はビジネス名に一致する必要があり、個人名での預 金口座は引き出しに失敗する」としていますが、ビジネス・アカウントでのビジネス 名を英語名で登録し、登録引出し預金口座名が日本語の場合、必ずしも、そうではな い場合もあるので、楽天銀行個人ビジネス口座作成が荷が重い方は、個人名での預金 口座登録を、はじめに、自己責任で試みてみてもよろしいかと存じます。

すなわち、この仕組みでは、ビジネス・アカウントのビジネス名を英語名で登録して います。

そして、ビジネス預金口座の名義を日本語で登録してみると、引き出しに失敗するこ とは、どうやらないようです。(ただし、ここの部分は裏技的部分ですので、実行は自 己責任でお願いします。)

一方、このビジネス預金口座の名義を「屋号プラス個人名」の口座で登録した場合は、 成功する場合と失敗する場合とが、ケース・バイ・ケースで生じるようです。

では、どうしても、その引き出しに失敗が生じる場合はどうするか?ですが、ここで、 ご家族のご協力を得て、いったん、このPayPal 口座ビジネス・アカウントからご家族 名義のPayPal に送金し、そこから、ご家族名義の登録預金口座経由で、現金化するこ とが、方法としてあります。

つまり、流れとしては、

「①あなたの PayPal 口座パーソナル・アカウントからクレジットカードを使ってあなた の送金→あなたの PayPal 口座ビジネス・アカウントからあなたのご家族 PayPal 口座 パーソナル・アカウントへ送金→あなたのご家族の PayPal 口座パーソナル・アカウン トに登録してある払い出し用預金口座-へ払い出し・現金化実現」 という流れになります。

また、どうしてもビジネス名義預金口座が得られなかった場合は、ためしに、あなたの個人名義の預金口座を登録して、試してみてください。

日本語と英語の対比判別を、PayPal 側がどのように判別するかですが、最後の手段としてはトライしてみてもいいかもしれません。

一般的な払い出し用預金口座の登録は、PayPal 口座パーソナル・アカウントの場合と同じです。

払い出し用預金口座の登録手順

下記に手順を記します。

① PayPalの日本語サイトにアクセスします。
https://www.paypal.jp/jp/
にアクセスします。
PayPalのホームページが出てきます。
英語が出てしまったら、右上の「English」をクリックし、「日本語(Japanese)」にかえます。
上の「ログイン」をクリックします。

②「アカウント・ログイン」のページが出てきます。
 「アカウントログイン」の下の項目に、ビジネス・アカウントで登録した「メールアドレス」と「PayPal パスワード」を入力します。
 「ログイン」をクリックします。

③「マイアカウント」のページが出てきます。

「ようこそ、(あなたのお名前)」とありその下に「事業名:(あなたが登録した英語なの 事業名)」とあり「アカウントタイプ:ビジネス」とあるのを確認してくだい。

④「マイアカウント」の下のメニューの「個人設定」にマウスを当てます。

出てくるメニュー

- * メールアドレスの登録または編集
- * クレジットカードの登録または編集
- * 銀行口座の登録または編集
- * 住所の登録または編集」

のうちの「 銀行口座の登録または編集」をクリックします。

⑤「銀行口座」というサイトがあらわれます。 「追加」をクリックしますと「日本の銀行を追加」が現れます。

⑥「日本の銀行を追加」というページが出ます。
手順は「銀行口座の詳細の入力」→「銀行口座の詳細の確認」→「確認メッセージ」です。

銀行口座の詳細の入力

「国」-「日本」を選びます。

「銀行口座の名義」-例:「ヤマダ マコト」全角カタカナのみでご記入ください。姓と 名との間にはスペースを入れてください。

「銀行名」-一覧から取引銀行を選択してください。取引銀行が一覧にない場合は[その 他]を選択してください。 「支店名」-全角カタカナのみでご記入ください。

「銀行コード」-通帳記載の4桁の数字をご記入ください。わからない方は「説明を見る」 をクリック

「支店コード」-通帳記載の3桁の数字をご記入ください。わからない方は「説明を見る」をクリック

「口座タイプ」-「〇普通預金」「〇当座預金」のいずれかの丸に印を入れてください。

「口座番号」-通帳記載の口座番号をご記入ください。

口座番号の再入力ー上記の数字をもう一度ご記入ください。

以上が記入し終わったら「続行」をクリック

「日本の銀行口座情報を確認」というページが現れます。

正しければ「銀行口座を追加」をクリックしてください。

「銀行口座が追加されました(国:日本)」というページが現れます。

以上で、払い出し用の銀行口座の登録は完了です。

念のため、そのページの「個人設定」にマウスをあて「銀行口座の登録または編集」をク リックしてみてください。

登録した銀行名が掲載されていれば設定完了です。

なお、左端の「選択」というのは、二つ以上の銀行口座を登録していて、主にどちらの銀行を使うのかの選択の場合に使います。

右上方にある「ログアウト」をクリックして、一応、終了してください。

以上で第二段階「受け手の PayPal 口座・ビジネス・アカウントを作る」は終了です。

①この章でのポイントは、「ビジネス情報」と「ビジネス・オーナーに関する情報」の 記載です。ただ、そのことについての審査があるわけではないので、あなたサイドで 自由に書いて差し支えありません。

ただ、必要なのは、正しいメールアドレスと正しい住所の記載です。

②何度も記載しますが、PayPalの英語サイト「Add a bank account in Japan」では、 原則は「登録口座名はビジネス名に一致する必要があり、個人名での預金口座は引き 出しに失敗する」としていますが、ビジネス・アカウントでのビジネス名を英語名で 登録し、登録引出し預金口座名が日本語の場合、必ずしも、そうではない場合もあり ます。

ですので、自己責任条件ですが、楽天銀行個人ビジネスロ座作成が荷が重い方は、個 人名での預金口座登録を、はじめに、自己責任で試みてみてもよろしいかと存じます。

③どうしても預金口座からの引き出しに失敗が生じる場合は、ご家族のご協力を得て、 いったん、この PayPal 口座ビジネス・アカウントからご家族名義の PayPal に送金し、 そこから、ご家族名義の登録預金口座経由で、現金化することが方法としてあります。

④同じケースでも、ときに PayPal 口座がロックされることがあります。

これは、おもに頻繁なアクセスや、同じ IP での取引や、一度に巨額な取引や引出しな どで、PayPal 側ないしカード会社側が、ロンダリング行為やフィッシング行為などを 警戒するアラームに触れた場合と考えられます。

あるいは、機能拡張プログラムの認証登録をしていない場合も考えられます。

そのようなロックの場合には、ロック解除の手続きが必要です。

日本語サイトに記されているサポート電話番号に連絡を取り、登録時のメールアドレ ス、電話番号、クレジットカード番号などを伝え、ロックを解除してもらいます。

⑤一度、あなたが PayPal 口座ビジネス・アカウントをとることが出来ると、このマ ニュアルでの仕組みにかかわらず、いろいろなビジネス展開が出来ます。 この際にぜひ、取得に挑戦してみてください。

第五章 デビット・カードとビジネス名義預金口座の作成手順

この第五章では、前章の第四章において、 ①あなたの名義でのクレジットカード(デビット・カード) または、 ②あなたの PayPal 口座ビジネス・アカウントでの払い出し用のビジネス名義預金口座 がそろわなかったかたのために、デビット・カードとビジネス名義預金口座の作成手 順を解説するものです。

1. デビット・カードの作成手順

デビット・カードにもいろいろありますが、このマニュアルではスルガ銀行の「Visaデ ビット」の求め方を書いてあります。

参考サイトとしては、次のものをご参照ください。

スルガ銀行の「Visaデビット」

http://www.surugabank.co.jp/surugabank/kojin/service/benri/visa_debit/

デビット・カードは、通常のクレジットカードと異なって、審査無しのカードです。

ですから、過去の何らかの事情でクレジットカードの審査が通らない方でも、また、 社会人でなく収入がまだない高校生でも得ることができます。

それでいて、デポジットする残高の範囲内であれば、普通のVISAカード同様の役割を 果たすことができます。

デビット・カードの信用審査がないのは、デビットカードは、預金残高の範囲内しか、 カード余力がない VISA だからです。

カード会社にとってみれば、資金回収の取りこぼしのないカードといえます。

そのほか、楽天銀行の「楽天銀行デビットカード」もありますが、同様の内容を記載 すれば得られます。

なお、「楽天銀行デビットカード」の場合は、 ①すでに楽天口座がある場合 と ②楽天口座がない場合 とでは、申し込み方法が異なります。、

②の場合は、口座を開設してからの申し込みとなります。

「楽天銀行デビットカード」は、 こちらのサイト http://www.rakuten-bank.co.jp/card/debit/ から申し込みできます。 まだ楽天銀行の口座を持っていない方は「口座開設」からはいり すでに楽天銀行の口座がある方は「ログイン」からはいり、 カードをお申込ください。 「楽天銀行デビットカード」は、インターネット上の手続きだけですぐ取得する子度で きるのが特徴です。

スルガ銀行の「Visa デビット」の申し込み手順

「Visaデビット」の申し込み手順は次のとおりです。

こちらのサイトにアクセスし、申し込み手順に従ってください。 http://www.surugabank.co.jp/my/request/request.html

手順は次のとおりです。

①「申し込みの前に」

事前に概要をご確認ください。

②「注意事項」

申し込み記入事項や本人確認書類の条件などをご確認ください。

③「同意確認」

「個人情報の利用目的のご案内」などをごらん頂き、同意できる場合は、「同意確認」に チェックを入れてください。

④「エントリー」

ここから「Step1 Step2 Step3 Step4」の記入に入ります。最後に「確認画 面」を確認します。

⑤「申込書印刷」

これまで入力した内容を確認した後、これをプリンターにプリントアウトします。

⑥「申込書フォームに記入・捺印」

プリントアウトしたものに記入捺印をします。

⑦「申込書·本人確認書類同封」

⑥のものと「本人確認書類」を同封します。

本人確認書類とは

公的証明書(運転免許証または健康保険証またはパスポートまたは住民基本台帳カー ド、のうちのいずれかの写し)+公共料金の請求書や領収証等(電気料金または電話料金 まはた水道料金、のうちのいずれかの写し)、

それぞれ一種類づつとなります。

⑧「郵送」

⑨「数週間後、VISA 機能付キャッシュカード、パスワードが自宅に到着」 ⑩「使用開始」

以上の流れとなります。

口座開設の申込フォームの記載の仕方

上記④でエントリーしての記載事項の書き方は下記のとおりとなります。

なお

※印の項目は必ずご入力ください。

また

英数字は半角で、カタカナは全角でご入力ください。

お名前・ご住所は、運転免許証等の確認資料に記載の通りご入力ください。

お申し込みご本人についての記載

名前(漢字)※

姓 名 ※

例: 駿河 太郎

名前(フリガナ)※ 姓 名 例:スルガ タロウ

名前(ローマ字) ※ 姓 名 (半角英大文字) 例: SURUGA TARO 生年月日※ 年 月 日 (半角数字) 例:50年8月10日

性別※

住所

郵便番号※

都道府県※

市区郡※ 例:横浜市中区

町名※

例:尾上町

丁目 / 番地 / 号※丁目 番地 号(半角数字)例:5 丁目 6 番地 7 号

マンション等

例:スルガハイツA-207号

マンション等(カナ) 例:スルガハイツA-207ゴウ

連絡先について

電話番号(固定または携帯の両方もしくはいずれかを入力)※

携帯番号※

E-MAIL (ご利用確認メール送信先になります)※

「今後、さまざまな情報をEメールにてお知らせしてよろしいでしょうか?」(どちらか にチェック)※ 「はい」 「いいえ」 以上で記入は終わりです。 52

2. ビジネス名義預金口座の作成手順

資金を受け入れる PayPal ビジネスロ座には、資金払い出し用の口座として、個人の普通預金口座でない、ビジネス名の預金口座の登録が求められます。

すでに個人名義ではなく、また、あなたの裁量で残高管理ができる法人名やNPOなど、 団体名の銀行普通預金口座(あなたの名前が代表者名として記載のもの)をもってい らっしゃる方は、ここでは、それを流用することで結構です。

問題は、これらの法人名の預金口座を銀行に申し込むと、法人の登記簿謄本や法人の 印鑑証明などを求められ、それがないと、開設できないことです。

いわゆる「営業性個人」と呼ばれる個人事業主の一般銀行での預金口座開設には、こ のように、大きな壁が存在しているのです。

そこで、そのようなかたのためにここでお勧めするのが、「楽天個人ビジネスロ座」です。

(1). 楽天銀行個人ビジネスロ座について

「楽天銀行ビジネスロ座」には「法人ビジネスロ座」と「個人ビジネスロ座」とがありますが、ここでお勧めするのは、「個人ビジネスロ座」のほうです。

なぜかというと、「法人ビジネスロ座」では、登記されていない法人やネットビジネス用 の営業性個人口座は受け付けてくれないからです。

楽天銀行の個人ビジネスロ座では、口座名義に屋号などを使うことができます。

たとえば、あなたが登録した屋号が「ヤマダビジネス」で、あなたの名前が「山田太郎」の場合の楽天銀行の個人ビジネスロ座の名義は「ヤマダビジネス 山田太郎」となります。

そして、口座開設決定後、「副読み登録」を行い「ヤマダビジネス」を追加登録・申請 をすることで、相手の振込先から、当初の口座名にはついていた代表名を除いた代表 名なしの「ヤマダビジネス」での振込みが可能となります。

また、すでに楽天銀行に個人口座を持っている方や、楽天銀行に併合前のイーバンク 時代から口座を持っている方は、簡単な手続きで、個人名義口座のほかに、屋号名義 の個人ビジネスロ座をもっことができます。 楽天銀行の個人ビジネスロ座については次のサイトなどをご参照ください。 http://www.rakuten-bank.co.jp/smallbusiness/

ジャパンネット銀行にも、楽天銀行と同じようなビジネスロ座(ビジネス・アカウント)がありますが、こちらのほうは、審査もあり、また、口座開設に当たっては、インターネットサイトの設置があることが求められます。

ジャパンネット銀行ビジネス・アカウントの開設については、こちらのサイト http://www.japannetbank.co.jp/business/apply.html をご参照ください。

なお、楽天銀行の個人ビジネスロ座では、インターネットサイトの設置は、必ずしも 求められておりません。

(2). 楽天銀行の個人口座をまだ開設されていない方の口座開設手順

ここから

http://www.rakuten-bank.co.jp/smallbusiness/account/ スタートしてください。

「楽天銀行の個人口座をお持ちでないかた」 と

「すでに個人口座をお持ちのかた」 とでは、申し込みのサイトにわかれます。

「楽天銀行の個人口座をお持ちでないかた」は、まず「楽天口座の個人口座」をお申し 込みの上で楽天個人ビジネス口座を申し込んでください。

「すでに個人口座をお持ちのかた」は、この(2)を飛ばして、次の「(.3)すでに楽天銀行の個人口座を開設されている方へ」に進んでください。

では、はじめます。

「楽天銀行の個人口座をお持ちでないかた」は「個人口座-Web申し込み」をクリックして ください。 次の流れとなります。

① http://www.rakuten-bank.co.jp/account/をクリック

②「口座開設」のポップアップが出る

③「楽天銀行口座お申込情報入力」に入力

「お名前」
「お名前(フリガナ)」
「ご住所(漢字)」
「ご住所(フリガナ)」
「電話番号」
「メールアドレス」
「生年月日」
「性別」
「ご職業」
「本人確認書類送付方法(○携帯電話のアプリで送信する○郵送する)」
「支店選択」
「カードローン申込」

以上を記入の上「次へ進む」をクリックしてください。

「楽天銀行口座お申込情報確認」 情報に誤りのないことを確認し、次へ進んでください。

「楽天銀行口座お申込完了」

これで申込は完了しました。

本人確認書類送付方法を 〇携帯電話のアプリで送信する または 〇郵送する の手続きを済ませてください。

一定の期間(2-3週間程度)後に、口座番号やアクセスのためのパスワードが郵便で送ら れてきます。

(3) すでに楽天銀行の個人口座を開設されている方の口座開設手順

ここから http://www.rakuten-bank.co.jp/smallbusiness/account/ スタートしてください。

「楽天銀行の個人口座をお持ちでないかた」 と

「すでに個人口座をお持ちのかた」

とでは、申し込みのサイトにわかれます。

①「個人ビジネスロ座-個人口座にログインして申し込み」をクリック

②「楽天銀行へようこそ」のポップアップが出ます。

③「ユーザ I D」「ログインパスワード」を入力して「ログイン」をクリックします。

④「ご本人確認のため、合言葉を入力してください。」とのポップアップがでます。「所有している車は?」などとでましたら、すでに登録の名前をひらがなでご記入ください。

「次へ」をクリック

⑤「MyAccount」のポップアップが出ます。 一番上の「商品・サービス一覧」をクリックします。

⑥「商品・サービス一覧」が出ます。

⑦「便利なサービス」の中の「個人ビジネスロ座開設」をクリックしてください。

⑧「個人ビジネスロ座開設申込」のサイトが出ます。 「個人ビジネスロ座を開設する」をクリックしてください。

⑨「個人ビジネスロ座開設申込・同意確認」のサイトが出ます。 サービス規定をごらんになり「同意する」をクリックしてください。

⑩「個人ビジネスロ座開設申込・入力」のサイトが出ます。

設定内容(全て必須)

屋号(漢字) 英語名の場合は日本語読みのカタカナでご入力ください。 例「ヤマダビジネス」の場合は「Yamada Business」

屋号(フリガナ) 英語名の場合は上記と同じ日本語読みのカタカナでご入力ください

ご本人氏名(漢字)-すでに入力されています

ご本人氏名(フリガナ) - すでに入力されています

(注-個人ビジネスロ座の口座名義は、上記の屋号と本人の姓名で設定されます。 たとえば、登録した屋号が「ヤマダビジネス」で、あなたの名前が「山田太郎」の場合 の楽天銀行の個人ビジネスロ座の名義は「ヤマダビジネス 山田太郎」となります。)

ご連絡先

郵便番号 - すでに入力されています

- ご住所(漢字) すでに入力されています
- ご住所(フリガナ)-すでに入力されています

電話番号-すでに入力されています

FAX 番号-なければ入力不要です

振込限度額-すでに入力。1回あたりの振込上限金額です。基本設定は1000万円です。

e-mail - すでに入力されています

e-mail(再入力)-すでに入力されています

ホームページアドレス - なければ入力不要です。あれば入力されたほうがベターです。

業種

適宜、選択してください。たとえば「コンサルティング」など。なお、ここで登録されたこの業種は控えられておいて、後段で別途解説の「個人事業の開廃業等届出書」の記入の時に使われてください。

FAX番号・ホームページアドレス以外は全て必須項目です。

本人名義他行口座(全て必須)

(注-ここで本人名義他行口座を登録するのは、個人ビジネス口座を解約するときに、 口座に残っている残金を送金するため、そのための口座登録が必要な故です)

金融機関名

選んでください。

支店名

選んでください。

科目

選んでください。

口座番号

記入してください。

口座名

あなたの個人預金口座の口座名、すなわちあなたのお名前を、カタカナで記入してく ださい。

姓と名前との間には「マツダロショウ」のようにスペースをひとつ入れてください。

備考欄(通常は記入不要です)

「確認」をクリックしてください。

「個人ビジネスロ座開設申込・確認」 がでますので間違いがないか確認してください。 間違いがなければ

「楽天銀行個人口座の暗証番号」

をセキュリティボードをつかって「数字」に対応する下段の「英字」を入力してくだ さい。

この暗証番号とは「個人口座の登録振込みのパスワード(4桁数字)」のことです。

「申込」をクリック

修正するときは「修正」、中止するときは「手続中止」をクリックしてください。

「個人ビジネスロ座開設申込・完了」

これで完了ですが、ここで、お客様の登録番号というのが、「アルファベット+9桁の数字」で出ます。

この部分をプリントするなり、控えておいてください。

登録番号は必要書類を楽天銀行宛に送付する際に必要となります。

一定の期間(2-3週間程度)後に、「個人ビジネスロ座内容に関するご案内」との郵便が 楽天銀行から来て、後に記す「個人事業開業届」(税務署での受付印を押印済みのもの) を返送するための返信用封筒が同封されてきます。

必要書類余白に上記の登録番号を明記の上、次のページに記載の「個人事業の開廃業 等届出書」を送付してください。

(4)「個人事業の開廃業等届出書」の税務署への届出手順

楽天銀行個人ビジネスロ座のサイトでの登録が完了し、その後、楽天銀行から、返信 用封筒が届きますので、これに最寄税務署の受付印が押印された「個人事業の開廃業 等届出書」のコピーを入れて返送すれば、楽天銀行個人ビジネスロ座の登録は、楽天 銀行側の審査が通れば、これで完了です。

「個人事業の開廃業等届出書」の税務署への届出となると、なんか物々しそうに感じられるかもしれませんが、簡単な手続きなので、ご心配なく。

単なるお届けですので、要件が完備していれば、そのまま受付印を押してもらえます。

次の手順によります。

①書式の入手

次の手順によります。

まず

「国税庁ホームページ」

http://www.nta.go.jp/

を出し

真中下部の「申告・納税手続」をクリック

「申告納税手続き」の中の「申請・届出(手続きの案内・様式)」の「所得税関係」の中の 「申告所得税関係」をクリック

「申告所得税関係」の中の「5 個人事業の開業届出・廃業届出等手続」をクリック 「[手続名] 個人事業の開業届出・廃業届出等手続」の中の「個人事業の開廃業等届出 書(PDF ファイル / 170KB)」をクリック

http://www.nta.go.jp/tetsuzuki/shinsei/annai/shinkoku/pdf/04.pdf

そうしますと、「個人事業の開廃業等届出書」がダウンロードできます。

これに記入し、あなたの最寄の税務署に、届ければよいのです。

税務署へは、郵便ででもよく、返信用の切手を貼った封筒を入れてお送りください。

では、この書き方に移ります。

②書式「個人事業の開廃業等届出書」の書き方

税務署受付印

(下記の内容でよければ税務署が受付印を押してもらえます。)

○○税務署長

(あなたの住所の所轄税務署が何税務署かはこのサイト

http://www.nta.go.jp/index.htm

を開き、左側メニューの中の「国税局・税務署を調べる」の中から、あなたの地方を クリックし、そのなかの「国税局・税務署のご案内」のなかの「税務署所在地・案内」 をクリックしてお確かめください。)

○年○月○日提出

(提出日または郵送日を書いてください)

A納税地

(自宅の住所を記載してください)

B上記以外の住所地・事業所等 (記載しなくて結構です)

C氏名(フリガナ) (そのまま書いてください)

D生年月日

(そのまま書いてください)

E職業

(「会社員」と「雑貨販売業」などでいいでしょう)

F屋号

(楽天銀行口座ビジネス・アカウントで登録したものと同じものを書いてください。た だ、ここで書いても、それで規定されるものではありません)

以降「個人事業の開廃業等について次のとおり届けます」以下の部分記入要項 G 届出の区分 (「開業」に〇をつけてください)

H開廃業日

(今日の日付で結構です)

I事業所等を新増設、移転、廃止した場合 (空欄で結構です)

J 廃業の事由が法人の設立に伴うものである場合 (空欄で結構です)

K開廃業に伴う届出書の提出の有無

「「青色申告承認申請書」又は「青色申告の取りやめ届出書」」 (一応「有」に〇印をつけてください。〇印をつけますと、納税時期に一応申告書類が 届きますが放置しといてもかまいません) 「消費税に関する「課税事業者選択届出書」又は「事業廃止届出書」」 (「無」に〇印をつけてください)

L事業の概要

(「海外からの輸入雑貨の販売」とでもしてください)

M給与等の支払の状況(空欄で結構です)

Nその他の参考事項

(空欄で結構です)

0源泉所得税の納期の特例の商人に関する申請書の提出の有無 (「無」に○印です)

P給与支払いを開始する年月日 (空欄で結構です)

以上で様式への記載は完了です。

③税務署への提出と受付印の押印

意外と簡単と思われた方は多いのではないでしょうか。

これをあなたの住所地所轄の税務署へ郵便切手をつけた返信封筒を同封して原本とコ ピーとの計二通を送ってください。

「控えに受付印を押印され、同封封筒で控え分を当方へご返送願います」との添え書き もお忘れなく。

④楽天銀行への「個人事業の開廃業等届出書」の送付

楽天銀行から「個人ビジネスロ座のご案内」と「返信用封筒」がすでに送られてきて いるはずです。

返信用封筒等の郵送には、オンラインでの申込から3~7日程度かかります。

「個人事業の開廃業等届出書」の控えに税務署の受付印が押されたものが返送されてき たら、これをさらにコピーし、「個人事業の開廃業等届出書」の余白部分に、「個人ビ ジネスロ座のご案内」に記載されている登録番号を必ずご記入ください。

このような番号です。

例: 登録番号 : 4B1850001234

(登録番号は個人ビジネスロ座開設申込時の「個人ビジネスロ座:ロ座開設申込・完 了」画面に表示されます。個人ビジネスロ座申込完了後は、あなたの個人口座にログ イン後、「個人ビジネスロ座:閲覧・参照」画面にて確認できます)

これを、すでに楽天銀行から送付されている返信用封筒に同封のうえ、送付願います。

送り先は

送付先:

〒 352-8689

新座支店私書箱第5号

楽天銀行株式会社 個人ビジネス③係 宛

です。

これですべて完了しました。

後は、楽天銀行の審査を待つだけです。

(5) 楽天銀行の審査完了後にあなたがすること

審査で問題がなければ、あらかじめ登録されているあなたの個人口座の通知用メール アドレス宛てに個人ビジネスロ座承認の知らせが送信されます。

個人口座にログインし、個人ビジネス口座の「支店番号」「口座番号」「仮ログインパ スワード」を確認し、ログインパスワード・暗証番号・ワンタイムキーを通知する メールの設定をすると口座開設完了となります。 この口座番号・ログイン ID 等は、個人口座とは別の新しいものとなります。 仮ログインパスワードと初期ユーザ ID を入力し、画面の手順にしたがってユーザ ID・ ログインパスワード・暗証番号・ワンタイム認証に利用するメールアドレスの設定手 続きを行います。

なお、初期ユーザ ID は、支店番号と口座番号をつなげた 10 桁の数字となっています。

副読み登録の登録・申請

この段階では、まだ、口座名義は「ビジネス名+個人代表者名」(たとえば、「マルマル ショウテン ヤマダ タロウ」のままになっています。 これを、代表名を除いたビジネス名のみ、たとえば「マルマルショウテン」のみにす るためには、副読み登録(ふくよみとうろく)を行う必要があります。 そのためには、サポートダイアルやサポートメールなどで代表名を除いた「マルマル ショウテン」を追加登録・申請をします。

楽天銀行個人ビジネスロ座のサポートダイヤル は 0570-03-0036 (平日9-17) です。

メールは

http://www.rakuten-bank.co.jp/support/contact/contact.html です。

以上が済んだ段階で、第四章の「(2)払い出し用預金口座の登録手順」(44ページ)にも とづいて登録をします。

以上で、第五章の「2. ビジネス名義預金口座の作成手順」 は終わりです。

3. ここがチェック・ポイント

①たしかに、楽天銀行の「個人ビジネスロ座」手続きは厄介に感じられるかもしれませんが、これを取得しておくと、このマニュアルの仕組みにかかわらず、今後、いろいろな展開が期待できそうです。

また、PayPalと楽天銀行との提携もうわさされておりますのでここは挑戦されてみて はいかがでしょう。

②これは英語が出来る方のためですが、今話題のデビットカードでPayoneer というアメリカ発行のデビットマスターカードがあります。 ご検討のかたはこちらのサイト http://www.payoneer.com/ からどうぞ。 第六章 PayPal 口座間での「支払いの請求・送金・払い出し・現金化」の手順-第三 段階から第六段階まで-

さて、以上で、送り手のPayPal 口座パーソナル・アカウントと受け手のPayPal 口座ビジネス・アカウントがそろいました。

この章では、この二つを使っての、ビジネス・アカウントからパーソナル・アカウン トへの支払いの請求から送金・払い出しまでの手順を逐一、説明していきます。

まず、ためしに、ごく小額(500円程度)の送金で試してみましょう。

1. 受け手の PayPal 口座・ビジネス・アカウントから支払いの請求をする-第三段階-

以下はその「請求 - ビジネス・アカウントからパーソナル・アカウントへ」の手順で す。

①「ログイン」のページ

まず、あなたが開設したビジネス・アカウントにログインします。

https://www.paypal.com/

にアクセスします。

右上の「ログイン」をクリックします。

では、ビジネス・アカウントにログインします

ビジネス・アカウントに登録した「Email address」と「PayPal password」を入力し 「Log in 」をクリックします。

②「マイアカウント」のページ

「Welcome」表示で「MyAccount」が出ます。

まず、日本語表示に変えます。

右上のEnglish 表示をクリックして日本語(Japanese)表示に変えます

「マイアカウント」の表示に変わります。

「ようこそ、(あなたのお名前)様」の下に「事業名*****」として、ビジネス・アカウン ト開設登録時にあなたが登録した事業名が英語で記載されているはずです。

「マイアカウント」のメニュー欄の「請求」をクリックします。

③「請求」のページ

「請求」のページがあらわれます。

「受取人のメールアドレス」に「パーソナル・アカウント」で登録したメールアドレス を記入します。

「金額」の横の通貨単位が「日本円」となっているのを「米国ドル」に変えます。

「金額」欄に、日本円 500 円相当額のドル(その日の円相場が1 ドル 85 円であれば、 「500/85 ≒ 5.80 ドル」となります。)を「5.80」などと記入します。

「次の商品・サービスの代金を請求します。」の下に「〇商品 〇サービス」とあるう ち、「〇商品 」にクリックを入れます。

「続行」をクリックします。

④「請求」「請求内容を確認して送る」のページ

「請求内容を確認して送る」のページが現れ 支払い請求先:

金額

が出ますので内容を確認して間違いなければ「請求」をクリックします。

⑤「支払い請求が送信されました」のページ

パーソナル・アカウントに登録してあるメール・アドレス宛に PayPal から、「**** would like to be paid through PayPal.」のメールが来ます。(**** とはあなたがビジ ネス・アカウントで登録したビジネス名です。)

また、ビジネス・アカウントに登録してあるメール・アドレス宛に「支払い請求が送 信されました」との控えのメールが届いているはずです。

⑥「ログアウト」

ページの上にある「ログアウト」をクリックして、請求の過程は終了です。

送り手の PayPal 口座・パーソナル・アカウントからクレジット・カードで支払いの
 送金をする-第四段階-

以下はその手順です。

①「ログイン」のページ

まず、あなたが開設したパーソナル・アカウントにログインします。

https://www.paypal.com/ にアクセスし 右上の「ログイン」を クリックします。 では、パーソナル・アカウントにログインします パーソナル・アカウントに登録した「Email address」と「PayPal password」を入力 し「Log in 」をクリックします。

②「マイアカウント」のページ

日本語にかえていない方は 「Welcome」表示で「MyAccount」が出ますので、まず、日本語表示に変えます。 右上のEnglish 表示をクリックして日本語(Japanese)表示に変えます 「マイアカウント」の表示に変わります。 「ようこそ、(英語でのあなたのお名前)様」がでます。

③同じく「マイアカウント」のページ

「PayPal 残高」の下のほうに「最近の取引 - 過去7 日」とあります。

そのなかに、「タイプ」の下に「請求送信元」とあり、「名前/メールアドレス」の下に「あなたのビジネス名)」とあり、「支払いステータス」の下に「処理中」とあり、 「注文ステータス・アクション」の下に「支払う(金額 \$5.80USD)」とあります。

この「支払う(金額 \$5.80USD)」をクリックします。

④「あなたのビジネス名」のページ

「あなたのビジネス名」「請求書」のページがあらわれます

「売り手」は「(あなたのビジネス名)」

「メールアドレス」は「(あなたのビジネス・アカウント登録のメール・アドレス)」 「金額」は「(あなたがビジネス・アカウントからパーソナル・アカウントに請求した ドル建ての金額)」

がでています。

上記に誤りがなければ、黄色の[続行]をクリックして支払いを完了します。

⑤「支払いの確認」のページ

「支払いの確認」がでます。

「支払い方法 Payment Method」としてあなたが決済に使った「クレジットカードの番号」「換算レート」「請求先(あなたのビジネス名)」がでます。

上記を 確認し、オレンジ色の「今すぐ支払う」をクリックしてください。

⑥「お支払いいただき、ありがとうございました」のページ

「あなたのビジネス名」

「(あなたのお名前)様、お支払いいただき、ありがとうございました」とのメッセージ が出ます。

「支払いが正常に送信されました。」とのメッセージ

「取引 ID: *J*****N*****V」等のメッセージ

「(あなたのメールアドレス)様宛てに注文の概要を記載したメールが送信されました。 お客様の注文は、次の配送先住所へ発送されます。(あなたの住所)」とのメッセージが でます。

以上で、「パーソナル・アカウント」から「ビジネス・アカウント」への支払い送金は 完了です。

下のほうにある「PayPal アカウント概要に移動」をクリックしてください。

⑦再び「マイアカウント」のページ

再び「マイアカウント」のページに戻ります。

上方にある「ログアウト」をクリックして終了してください。

3. 受け手の PayPal 口座・ビジネス・アカウントからビジネス名義預金口座に振り込 み・現金化をする - 第五段階と第六段階 -

以下はその手順です。

①「ログイン」のページ まず、あなたが開設したビジネス・アカウントにログインします。 https://www.paypal.com/ にアクセスします。 右上の「ログイン」を クリックします。 では、ビジネス・アカウントにログインします ビジネス・アカウントに登録した「Email address」と「PayPal password」を入力し 「Log in 」をクリックします。

②「マイアカウント」のページ

「Welcome」表示で「MyAccount」が出ます。

まず、日本語表示に変えます。 右上のEnglish 表示をクリックして日本語(Japanese)表示に変えます 「マイアカウント」の表示に変わります。 「ようこそ、(あなたのお名前)様」の下に「事業名*****」として、ビジネス・アカウン ト開設登録時にあなたが登録した事業名が英語で記載されているはずです。

「PayPal 残高」欄は、次のように、日本円建てとドル建ての二段になっています。

「JPY (メイン)0 JPY」 「USD \$5.29 USD」

残高には、先ほどあなたがドルベースで送金された金額が、すでに、ドルの残高として、反映されています。

下のほうの「最近の取引」は

「支払・送信元(あなたの英語読みの姓名)・(請求番号)・完了・\$5.80」 と

「請求・宛先・宛先(あなたの英語読みの姓名)・支払い済み・\$5.80」 との二段になっています。

なお、ここに「払戻し」とあるのは、「購入代金の払戻し」の際に使うもので、この場 合には関係ありません。

次に

「マイアカウント」のメニュー欄の「引き出し」をクリックします。 ③「引き出し」のページ

「引き出し」のページがでます。

「オプション」の下の「銀行口座へ引き出し」を クリックしてください。

④「電子振替による銀行口座への引出し」のページ

「電子振替による銀行口座への引出し」のページがあらわれます。

「銀行口座」には、すでに登録の口座名がかかれているはずです。

また、残高は、ドルベースになっているはずです。

この残高から、ドルベースで、登録銀行口座への振り替えをおこないます。

最低引き出し金額は米国ドルのばあい、「10.00米国ドル」です。

「金額」欄に「10.00」などとお書きください。

最低引き出し金額10ドルに満たない場合は、残高が10ドル以上に達する次の機会まで、引き出しをお待ちください。(ここでのケースの場合は、まだ残高が5.80ドルですから、10.00ドルにいたらず、次の機会を待たなければなりません。)

「続行」を クリックしますと、残高引き出し手続きは完了です。

⑤預金口座へ振り替え入金し・預金口座から銀行の ATM を経由して現金化

ふたたび、「マイアカウント」のページに戻り、払い出し分の残高が減っていること を確認してから、ログアウトしてください。

以上で、クレジットカードの現金化は終了しました。

登録の払い出し用預金口座に残高が反映されるまで 3-6 営業日ほどかかります。

4. ここがチェック・ポイント

① PayPal 口座のパーソナル・アカウントとビジネス・アカウントがそろうまでは難関 でしたが、いざ、この二つがそろえば、後は、たんたんと両口座間での資金移動のみ となります。

②ただ、注意点としては、

一回での送金請求金額なり送金額が、日本円にして10万円未満になるようにしてくだ さい。

また、同一日での頻繁な決済や、同じ IP での取引は警戒されますので、この点も、ご 注意ください。

24時間の間をおくことも肝要です。

終章 この仕組みをさらに発展させると、どんなことが出来る?

みなさん。無事、クレジットカードのショッピング枠を PayPal 口座を経由して、現金 化することができましたでしょうか?

ここで、今回皆様が取得した PayPal 口座ビジネス・アカウントを中心にして、さらに、 この仕組みを発展させることが出来ます。

たとえば、皆様方の「自前のキャッシュディスペンサー」だって出来てしまうのです。

最後ですから、ちょっと、そのヒントになるようなご紹介をすることで、このマニュ アルを閉じたいと思います。

PayPal 口座をつかって、自販機的な仕組みを作るソフトにはいろいろなものが出回っております。

検索で「PayPal 決済連動」とキーワードを入れるといろいろなシステムが検索にかかってくるものと思います。

もちろん、これらのシステムは、あなたが電子書籍のダウンロード販売をしようとし ているとき、インフォ関係のルートを利用しないで、直にクレジットカード決済のサ イトを作る場合に、本来は利用されています。

しかし、ここでの商品の販売価格を調整すれば、このシステムが自動販売機からあな た自前のキャッシュディスペンサーに早変わりして、いつでも、小出しに、あなたの クレジットカードを現金化できるシステムに変身させることが出来るのです。

ここで、これ以上の詳しい説明をすることは、あえて避けますが、以上のヒントを元 に、あなたご自身、新しい仕組みづくりに挑戦されてみてはいかがでしょうか?

それと、もうひとつは、今回、図らずもあなたが作られた、海外との取引でも通用で きる PayPal ロ座アカウントを利用することによって、あなた自身、海外をも相手にし たいろいろなビジネスチャンスが展開できることです。

たとえば、FX取引でも、このごろのFXの海外ブローカーでは、トレード資金を、クレジットカードで入金できるようになって来ました。

ただ、その多くが、そのトレード資金を返還するときには、AVA FX のように、クレジットカードへの返金となってしまうのです。

これをクレジットカードとFX口座との間にPayPalをかませると、PayPal口座への返金 とすることが出来るのです。

たとえば、日本語のサイトのあるFXDDやFxProなどでも、PayPalによるトレード資金の入金が可能です。

こうなると、いわばトレード資金をPyaPal 口座を経由し、リボ払いで調達し、運用する、ということも可能になるのです。

そのトレードが成功すれば、まさに、一石二鳥ですね。

では、今回の仕組みづくりを通して、あなたが、単にカードの現金化ということにと どまらず、これを機会に、新しいビジネスチャンスへの挑戦のためのツールを得たで あろうことを祈念しながら、そろそろ、このマニュアルを閉じることにします。
カード・ショッピング枠・自力現金化マニュアル

- 発行 2011年1月11日
- 著者 アメリカン・オプション研究会
- 発行所 大和興業株式会社
 〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-11-7
 電話 03(3339)8931